

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	132041	事務事業名	回天記念館管理運営事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)文化・芸術活動の充実			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	関係団体と連携しながら質の高い舞台芸術、展覧会、講演会など、特色ある本物の文化・芸術の鑑賞機会の提供に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【4 文化・芸術活動】	41.40%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民、入館者及び資料(遺品等)提供者	意図(どういう状態にしたい): ●入館者及び市民が平和について考察を深められる。また大津島の振興が図られる。 来館者数 H26目標:17,000人	事業の内容 (手段)	●回天記念館の適切な管理運営を行い、平和に関する啓発活動を行う。  回天関係資料を展示して周南市の特色ある平和学習を行う。 H44. 11開館。休館日:水、年末年始。入館料大人300円(団体240円)、18歳以下無料。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	回天記念館での対応や、ホームページによる情報発信により、平和学習を継続的に実施した。入館者15,354人。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】								直接事業費	千円	8,262	8,263	9,811	7,912
								(予算額) うち一財	千円	4,881	4,789	6,387	3,986	3,986
事業目標	目標名	入館者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	事業費	直接事業費	千円	8,549	9,775		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	5,439	6,080		休憩所等の管理業務の見直しによる減	
	目標値	17,000.0	17,000.0	17,000.0	17,000.0	17,000.0		正職員人件費	千円	3,223	3,032			
	実績値	14,771.0	14,656.0	15,354.0				人工数	人	0.44	0.41	0.30		
	達成度(%)	86.9%	86.2%	90.3%				支出コスト	千円	決) 11,772	決見) 12,807			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	①	施設の管理 (施設等管理運営事業)	施設及び資料(遺品等)	施設の安全性の確保や遺品等の資料の適切な管理・展示を行う。	展示内容の更新回数	嘱託等の雇用、契約、経理事務及び修繕対応、並びに展示品の更新	0.19	0.25	4,769	可	可			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 施設及び設備の老朽化による修繕が増加傾向にある。観覧者の高齢化に伴い、バリアフリー化や車いすへの対応等を検討する必要がある。前庭の烈士石碑等において鳥獣被害があったことから、対応が必要である。				B	改善案	前庭整備やスロープへの手すりの設置等を優先的に進め、今後、無料休憩所を含めて施設の計画的な更新を検討する。					
②	開館運営 (ソフト事業)	来館者	回天の歴史と平和について学ぶことができる。	入館者数17,000人	入館受付及び展示解説、来館者との連絡調整、問い合わせ対応	0.19	3.75	5,006	可	可				
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 展示解説等を維持向上させていくためには、人材の確保と育成及び計画的な引き継ぎが必要。				B	改善案	人材の発掘と育成を目的に研修を計画するとともに、観光ボランティアガイドとの連携も図ることとする。						

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	③	広報活動 (ソフト事業)	広く一般市民	平和について学ぶため来館する動機づけが強化される	ホームページを年12回以上更新する。(目標;更新回数12回)	HP更新、各種取材及び視察対応。(実績;更新回数15回)	正職員	臨時等	0	0	可	可	
							0.03	0					
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 市内外への効果的なアピール方法の検討するとともに、観光交流課や中山間地域振興課との連携が必要である。						細事業評価							
						B	改善案	戦後70周年という節目を迎えるに当たり、平和について学ぶ研修を企画することとする。					
④													
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	S44施設寄贈以降、委託により管理運営を行っていたが、平成10年に施設のリニューアル及び直営化。平成18年度に映画「出口のない海」の影響で入館者が過去最高を記録。以後漸減しているが平成17年度以前と比較すれば同程度である。平成27年に戦後70年を迎える。	前年度までの指摘事項	施設の老朽化(バリアフリー対応含む)に対して、計画的な修繕等の対応を検討する。戦後70年がどういう位置付けになるのかを整理し、回天の歴史等を後世に伝えられる体制の検討を早急に行う。入館者数の増加の繋がるよう、大津島海の郷や(一財)周南市観光コンベンション協会の平和の島プロジェクトとの連携を進めるとともに、大津島巡航株式会社等と連携した割引、前売り券制度の導入などの検討を進める。	指摘事項に対する改善状況	回天記念館の周辺整備を行う(スロープへの手すりの設置、前庭の整備等)。戦後70年事業として、親子(児童・生徒)を対象に回天を知ってもらうための研修と回天記念館のサポーターを養成するための研修を実施する。
	細事業の課題・問題点	団体観覧者受け入れにあたり、研修室及び休憩スペースが不足する場合がある。改築から16年が経過し、施設及び設備の老朽化が進んでおり、改修が必要である。恒常的に良質な解説を提供できるスタッフ体制の維持と活動をサポートできる人材の発掘と育成が必要である。	事業全体の課題・問題点	無料休憩所のあり方について、検討が必要である。施設・設備の修繕計画を立てる必要がある。来館者に対し充分な解説を行うスタッフを確保するため、増員等の検討が必要である。平和学習の社会教育施設としての周知と資料の適切な保存と管理が必要である。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	戦争の悲惨さや平和の尊さを考える機会を提供する平和学習施設であり、周南市の特色ある施設として知名度の向上と良質な展示解説を実施するためのスタッフ体制や施設の修繕等を検討する必要がある。	改善案	展示資料の整理・調査を進める。スタッフ体制の検討を進める。修繕計画の検討を進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 施設の老朽化(バリアフリー対応含む)に対して、計画的な修繕等の対応を検討する。戦後70年がどういう位置付けになるのかを整理し、回天の歴史等を後世に伝えられる体制の検討を早急に行う。入館者数の増加の繋がるよう、大津島海の郷との連携を進めるとともに、大津島巡航株式会社等と連携した割引、前売り券制度の導入などの検討を進める。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200203
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(3)平和発信の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平和の尊さを語り継ぐためスタッフ体制の強化に努める。 また、平和発信事業として引き続き回天記念館をしっかりとらうための研修及び講座を開催する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	132059	事務事業名	尾崎記念集会所管理運営事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)文化・芸術活動の充実			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	関係団体と連携しながら質の高い舞台芸術、展覧会、講演会など、特色ある本物の文化・芸術の鑑賞機会の提供に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【4 文化・芸術活動】	41.40%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民及び入館者	意図(どういう状態にしたい): ●尾崎記念集会所の利用者が増加する。 利用者数 H26目標:1,600人	事業の内容 (手段)	●尾崎記念集会所の効率的な管理運営を行う。 ●尾崎正章氏の小作品を鑑賞する機会を提供する。  尾崎正章氏より寄贈された病院建物(大正13年築)を改修し、平成5年11月開館。 休館日:月曜日、祝日、年末年始。入館無料。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	尾崎作品を展示鑑賞する機会のほか、地域住民による読み聞かせ活動の場を提供した。入館者1,042人(3カ月間の休館期間あり)。敷地内のアトリエ兼住宅は、安心安全の観点により解体した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	587	600	590	587		600						
事業目標	目標名	入館者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	586	599	589	586	599
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	569	12,771		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	1,600.0	1,600.0	1,600.0	1,600.0	1,600.0	(決算額)	うち一財	千円	568	5,070			
	実績値	1,650.0	1,588.0	1,042.0			正職員人件費	千円	147	148				
	達成度(%)	103.1%	99.3%	65.1%			人工数	人	0.02	0.02	0.01			
							支出コスト	千円	決) 716	決見) 12,919				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	施設の管理運営 (施設等管理運営事業)	市民	尾崎正章作品を鑑賞することができる。地域の文化活動が継続される。	入館者数1,600人	施設管理、来館者対応 (アトリエの解体に伴い、3カ月間休館)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.01	0	362	可	可			
	細事業の課題	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト ■ その他 施設の老朽化が進行しているが、改修には一定の経費が必要となる。路地の奥にあり、車両の進入ができず駐車場もない。					D	改善案	費用対効果の観点から大規模改修は困難と予想されるため、今後については、尾崎作品鑑賞の場や読み聞かせ活動の場の代替確保等について、利用者と協議しつつ検討する。					
②	アトリエ等の解体 (施設等整備事業)	近隣住民、(アトリエ兼住宅)	近隣住民の安全を確保する。	老朽化した建物の解体	がんばる地域交付金を活用して実施	0.01	0	12,409	可	否				
細事業の課題	□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 ■ コスト □ その他 解体には多額の経費が必要となる。					A	改善案	がんばる地域交付金を活用した。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成7年度に郷土美術資料館が開館し、尾崎正章作品を常時展示。平成14年度に福川地区コミュニティセンターが開館。平成20年度以降、福川小学校から活動場所を移し、市民団体が読み聞かせ活動を行っている。	前年度までの指摘事項	アトリエ兼住居は、安全性の確保の観点から早急に解体する(H26年度解体予定) 集会所については、本来の目的を果たしていないことから、地域への譲渡や廃止等を含め施設の方向性を早急に決定する必要がある。	指摘事項に対する改善状況	アトリエ兼住宅については、解体した。集会所については、施設の大規模改修は困難と考えることから、施設の状況等を確認しながら、将来的に活動の代替場所などを利用者と協議しながら検討する。
	細事業の課題・問題点	施設の老朽化による改修や解体は、多額の経費が必要である。		事業全体の課題・問題点	集会所の老朽化への対応として、現在の施設利用のあり方を再検討する必要がある。	

所管課評価

評価	D	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	施設老朽化の対応として、将来的に廃止の時期を検討するとともに、それまでの間は適切な管理を行いたい。	改善案	集会所は、施設の現状を見極めながら、老朽化が進み安全上問題が生じると判断すれば、廃止及び解体を検討する。
----	---	--	------	---	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	D	アトリエ兼住居について、安全性の確保の観点から解体を実施。集会所については、本来の目的を果たしていないことから、地域への譲渡や廃止等を含め施設の方向性を早急に決定する必要がある。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	200201
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(1)文化芸術活動の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

費用対効果の観点からも大規模改修は困難なため、管理業務受託者と連絡を密にし、安全上の問題が発生しないように努めるとともに、廃止時期を含め施設の運営についての協議を続けていく。
---

備考

備考
----

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	151003	事務事業名	文化振興一般事務費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)文化・芸術活動の充実			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	関係団体と連携しながら質の高い舞台芸術、展覧会、講演会など、特色ある本物の文化・芸術の鑑賞機会の提供に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【4 文化・芸術活動】	41.40%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民を含む近隣住民	意図(どういう状態にしたい): ●市民に対し、円滑な文化振興業務の推進が図られる。 後援名義許可件数 H26目標:60件	事業の内容 (手段)	●文化振興事務を円滑に進める。 文化振興に係る事務経費。文化関係団体との連携を深める。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	市後援名義の手続き38件を行った。 文化振興財団や文化団体等との連携を深めた。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	386	426	514	555	400
事業目標	目標名	後援件数	計算式	達成項目/目標項目	単位	件	(予算額)	うち一財	千円	386	426	514	555	400
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	386	993		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	80.0	80.0	60.0	60.0	60.0	(決算額)	うち一財	千円	386	993			
	実績値	72.0	42.0	38.0			正職員人件費	千円	3,077	5,694				
	達成度(%)	90.0%	52.5%	63.3%			人工数	人	0.42	0.77	0.40			
							支出コスト	千円	決) 3,463	決見) 6,687				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 文化振興一般事務 (経常的事務事業)		市民	市民文化活動を支援	後援件数60件	各種照会回答、後援名義処理、大会挨拶及び表敬対応、文化団体との連携	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否	
							0.24	0	238					
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 関係機関等と情報を共有し、適切に活動を支援する必要がある。				B	改善案	文化団体の活動を支援するため、後援名義や表敬等の対応を円滑に事務を行うとともに、文化団体等と情報交換を進め、適切な振興策を探索。					
	② 文化振興の検討 (ソフト事業)		市民、(文化振興財団)	市民文化活動を支援	文化振興財団との連携を深める。	徳山駅在来線ホームにて、列車到着時に「まど・みちお」さんの童謡を使用したメロディを流す等、文化の振興に係る事業を実施	0.53	0	755			否	否	
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 常に情報収集に努め、文化振興のために有効な支援策を検討する必要がある。				B	改善案	文化振興財団と定期的に意見交換の場を設け、情報を共有しながら、ともに協力して文化振興を図る。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成21年度の機構改革に伴い、社会教育一般事務費から分離設定された。平成24年度報告から事業内容を再編。事業仕分や文化振興財団の公益法人改革への対応等、関係団体との情報共有に努めている。平成25年度から市長部局となり、後援処理件数が減少している。	前年度までの指摘事項	本予算小事業には、東京で開催する林忠彦賞受賞式典の随行として、旅費が2名分計上されているが、1名分に改める。	指摘事項に対する改善状況	1名分にした。
	細事業の課題・問題点	関係課や文化振興財団と緊密に連携をとって事業を進める必要がある。	事業全体の課題・問題点	文化振興を推進する上で、広く文化芸術に関する情報を収集することや、文化振興財団の業務を理解し連携がとれる人員体制が必要である。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	市民や団体の文化活動を支援するとともに、文化振興財団と連携を密にし、施設管理のみならずソフト事業を中心に、市全体の文化振興の担い手として組織を育成していく必要がある。	改善案	広く文化振興に関する情報交換を促進する。
----	---	--	------	---	-----	----------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	本予算小事業には、東京で開催する林忠彦賞受賞式典の随行として、旅費が2名分計上されているが、1名分に改めた。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	200201
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(1)文化芸術活動の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
必要最小限の予算措置であり、文化振興財団との定期的な連絡会議を引き続き開催し、情報交換を行う。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	151008	事務事業名	市民美術展開催費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)文化・芸術活動の充実			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	周南文化協会をはじめ自主的な活動団体や市民自らが行う市民参加型の文化・芸術活動の発表の場の提供に努めるとともに、こうした活動への市民の参加を促進します。			25年度市民評価の満足度	【4 文化・芸術活動】 41.40%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民及び通勤通学者	意図(どういう状態にしたい): ●市民の創作活動を促し、また鑑賞を通じた市民文化の振興が図られる。 出品点数 H26目標300点	事業の内容 (手段)	●市民を対象とした「周南市美術展」を開催し、市民の創作活動を促す。  平面・立体・書・写真の4部門。 美術博物館を会場に例年10月に開催(前期後期各5日間)。公開審査。 観覧料:無料。出品は一人1部門2点(1点目出品料1000円、2点目700円)。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	応募278点の審査を行い、入選以上となった220点を美術博物館にて展示(前期10月15日～19日、後期10月22日～26日)。観覧者数2,715人。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	1,493	1,501	1,446	1,468		1,500						
事業目標	目標名	出品点数	計算式	達成項目/目標項目	単位	点	(予算額)	うち一財	千円	1,241	1,256	1,187	1,198	1,255
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,465	1,472		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	(決算額)	うち一財	千円	1,224	1,213			
	実績値	268.0	256.0	278.0			正職員人件費	千円	1,612	1,553				
	達成度(%)	89.3%	85.3%	92.7%			人工数	人	0.22	0.21	0.15			
							支出コスト	千円	決) 3,077	決見) 3,025				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	市美展の開催 (ソフト事業)	市民及び通勤通学者	美術への関心を高めるとともに、美術鑑賞を通して市民文化の向上を図る。	市民による美術展の出品及び観覧者を増やす。	運営委員会、募集要項作成、作品の搬出入、審査会、表彰及び展覧会の開催	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.21	0	1,472	可	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 市民の文化意識を向上させるためにも、出品点数を伸ばす試みが必要である。					B	改善案	開催要項の出品規格等を毎年見直すなど、出品者及び観覧者の要望に応え実施する。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成15年から出品料を徴収して入選及び落選を設けたコンテストに改め、応募作品のレベル向上を図っている。平成22年度から1人1部門につき2点応募可能とした。	前年度までの指摘事項	市民の文化度を測る観点から、事業目標は出品点数とするべきであり、市や文化協会、文化振興財団、市民文化団体等の日頃の取り組みの成果として、市美術展覧会への出品が増えるような仕組みづくりを検討する必要がある。	指摘事項に対する改善状況	事業目標を出品点数とした。開催要項については、毎年運営委員会で検討をしている。
	細事業の課題・問題点	現在、作品搬入・搬出、展示作業、会期中の会場運営について、文化振興財団に委託しているが、賞の決定や表彰は市の主導で行っている。	事業全体の課題・問題点	市の主体性を確保しながら事業を進めるうえで、当面、現行のスタイルが望ましいと考えている。秀作展との統合については、展示スペースの問題から実現困難と考えている。開催時期や出品規格など文化振興財団の意見を聞きながら検討する。文化振興財団との共催事業とすることも併せて検討する。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	公平な運営に努め、市美展が市民の目標や励みとなるように、開催要項に改善を重ねながら継続実施する。	改善案	毎年開催内容の見直しを行っている。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 市民の文化度を測る観点から、事業目標を出品点数に改めた。市や文化協会、文化振興財団、市民文化団体等の日頃の取り組みの成果として、市美術展覧会への出品が増えるような仕組みづくりを検討する必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200201
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(1)文化芸術活動の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
出品点数が増加したことから、さらに市民の目標となる展覧会を目指し、展示方法などを含め開催内容等を引き続き検討する。

備考



平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	151014	事務事業名	文化会館管理運営事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)文化・芸術活動の充実			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	関係団体と連携しながら質の高い舞台芸術、展覧会、講演会など、特色ある本物の文化・芸術の鑑賞機会の提供に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【4 文化・芸術活動】	41.40%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民を含む近隣住民	意図(どういう状態にしたい): ●文化会館の利用者が増加する 利用者数 H26目標:使用率70%  文化会館を快適に利用できる。 舞台芸術等の鑑賞機会が増える。	事業の内容 (手段)	●文化会館の効率的な管理運営を行う。 ●市民に対し、舞台芸術等の鑑賞機会を提供する。  指定管理者:周南市文化振興財団(H23~27)。 昭和57年11月開館。大ホール(1,800人収容)、会議室等5他。 休館日:第1・3水曜日、年末年始。開館時間:9時~22時。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	文化会館を適切に管理・運営し、年間302,470人の来館者を迎えて、ホール事業及び企画事業を実施した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	122,496	124,590	126,249	128,771		133,246						
事業目標	目標名	使用率	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	82,049	75,027	76,686	79,391	83,866
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	121,157	124,999		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	(決算額)	うち一財	千円	82,939	76,967	新たな指定管理期間の開始に伴う積算見直しによる増	消費税率の改定及び指定管理料に係る債務負担行為による増	
	実績値	70.6	68.4	69.3			正職員人件費	千円	806	518				
	達成度(%)	100.9%	97.7%	99.0%			人工数	人	0.11	0.07	0.15			
							支出コスト	千円	決) 121,963	決見) 125,517				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	管理運営 (施設等管理運営事業)	市民を含む近隣住民	快適な施設の提供、舞台芸術鑑賞機会の提供	文化振興財団との連絡調整、各種許可及び報告を緊密に行う。(使用率目標:70%)	適切に管理・運営し、年間302,470人の来館者を迎えて、ホール事業及び企画事業を実施した。(使用率実績:69.3%)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.07	0	124,999	可	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 指定管理者である文化振興財団を適切に指導するためにも、緊密な連携を行う必要がある。					B	改善案	文化振興の拠点施設として、適切な管理運営を実施するために、指定管理者である文化振興財団と定期的な情報交換会を行い、緊密な連携を図る。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成18年度より、周南市文化振興財団を相手方として指定管理者制度を導入している。 平成25年度より、文化振興財団は公益財団法人に移行。	前年度までの指摘事項	周南市文化会館は、(公財)周南市文化振興財団がH23年度からH27年度の5か年間の指定管理者として管理代行を行っている。当該施設は、使用料制度としていことから、経営という視点が指定管理者に意識付けされ難く、経営努力が発揮し難い状況にあることから利用料金制とするべきとの考えもあるが、利用料金制のメリット、デメリットを精査し、方向付けをする必要がある。	指摘事項に対する改善状況	現状の運営状況をしっかり把握し、H28年度以降の指定管理について、検討をする。
	細事業の課題・問題点	指定管理者である文化振興財団を適切に指導する一方で、緊密な連携を行う必要がある。	事業全体の課題・問題点	文化会館の開館とともに発足し、文化振興事業に従事してきた周南市文化振興財団のノウハウを最大限に活かすよう、適切に指導する。 効率的な運営を行うためには、指定管理内容について定期的に再検討する必要がある。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	市民文化の振興には、施設の効果的な利用が必要である。 引き続き、指定管理者制度を活用した効率的な施設の管理運営を行う。	改善案	文化振興財団との連携を密にして、指定管理者制度を活用し効率的な施設の管理運営を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 周南市文化会館は、(公財)周南市文化振興財団がH23年度からH27年度の5か年間の指定管理者として管理代行を行っている。当該施設は、使用料制度としていことから、一般的には、経営という視点が指定管理者に意識付けされ難く、経営努力が発揮し難い状況にあるといわれているため、総括的に判断した場合、利用料金制への移行が可能かどうか検証すること。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200201
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(1)文化芸術活動の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
新たな指定管理期間(5年)の開始に伴い、引き続き(公財)周南市文化振興財団による指定管理を行うこととし、必要経費について積算の見直しを行い債務負担行為による予算措置をした。 また、効率的かつ効果的な施設の運営を行うために、指定管理者との連絡調整会議は継続する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	151017	事務事業名	文化会館整備事業費	事業の分類	(施設等整備事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	○
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)文化・芸術活動の充実			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	関係団体と連携しながら質の高い舞台芸術、展覧会、講演会など、特色ある本物の文化・芸術の鑑賞機会の提供に努めます。			25年度市民評価の満足度	【4 文化・芸術活動】 41.40%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 施設及び周南市民、利用者	意図(どういう状態にしたい): 安心安全が確保され、快適な環境の中で、優れた文化・芸術にふれる機会が充実される。	事業の内容 (手段)	ライフサイクルコストを見据えた計画的な設備・施設改修を行い、長寿命化を進める。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	非常照明・調光分岐盤用蓄電池の取り替え、ヒートポンプの分解修繕を行った。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	2,092	8,085	7,057	72,378	19,611
事業目標	目標名	計画的な施設・設備改修	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額) うち一財	千円	2,092	8,085	7,057	16,889	16,611
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	11,030	8,030		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	荷物用EV、防災センター改修	PCB機器更新他	非常用蓄電池取替他	リハーサル室の床張替修繕及び照明改修	屋根防水改修工事	(決算額) うち一財	千円	11,030	8,030		屋根防水改修工事	冷却水ポンプ取替、屋外灯増設工事等	
	実績値	荷物用EV、防災センター改修	PCB機器更新、大ホール照明修	非常用蓄電池取替、ヒートポンプ分解修繕			正職員人件費	千円	366	148				
	達成度(%)						人工数	人	0.05	0.02	0.07			
							支出コスト	千円	決) 11,396	決見) 8,178				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	① 整備の実施 (施設等整備事業)		施設及び周南市民、利用者	利用者の安心安全の確保及び快適な利用促進	計画的な整備の実施	非常照明・調光分岐盤用蓄電池の取替及び屋上に設置してあるヒートポンプの分解修繕	正職員 0.02 臨時等 0	直接事業費 8,030	委託 可	臨時嘱託 可				
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 施設の老朽化の進行及びニーズに対応した施設整備を、計画的に行う必要がある。			B	改善案	ライフサイクルコストを意識した計画性のある改修・修繕を行う。						
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						
	④												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成12年度から5年をかけて大規模修繕を行い、平成24年には開館30周年を迎えた。 指定管理者制度のもと、軽微な修繕は指定管理者が行っている。	前年度までの指摘事項	ライフサイクルコストを踏まえた改修修繕計画を策定し、計画性のある対応を行う必要がある。	指摘事項に対する改善状況	指定管理者である文化振興財団や建築課に相談しながら、修繕・改修を計画的に行う。
	細事業の課題・問題点	建設から30年以上が経過し、施設及び設備の老朽化の進行への対応と、時代の変化や利用者のニーズに即した整備が必要である。	事業全体の課題・問題点	周南地域最大の文化拠点施設であるが、建設から30年以上が経過し、更新を要する設備や老朽化がみられる。良好な鑑賞環境を維持提供し、観客及び施設利用者に安全で快適に利用して頂くために、今後も計画的な整備が必要である。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	専門施設として快適な鑑賞環境を維持・向上するため、計画的な整備を進めている。	改善案	長期的な改修計画を立て、計画的な整備を進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B ライフサイクルコストを踏まえた改修修繕計画を策定し、計画性のある対応を行う必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200201
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(1)文化芸術活動の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
施設を長期的に維持するために計画的な改修を行う。(経年劣化により建物内への雨水の侵入があることから、屋根防水改修工事を行う)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	151020	事務事業名	市民館管理運営事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)文化・芸術活動の充実			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	周南文化協会をはじめ自主的な活動団体や市民自らが行う市民参加型の文化・芸術活動の発表の場の提供に努めるとともに、こうした活動への市民の参加を促進します。			25年度市民評価の満足度	【4 文化・芸術活動】 41.40%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民及び利用者	意図(どういう状態にしたい): 現有施設を活用し、施設の安心安全に努める中で、文化・芸術活動の場の提供を行う 利用者数 H26目標:145,000人	事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民館の効率的な管理運営を行う。</li> <li>●市民に対し、市民文化活動の場を提供する。</li> </ul> 指定管理者:周南市文化振興財団(H26)。 昭和31年7月開館。大ホール(1,069人収容)、小ホール(260人)、会議室12他。 休館日:年末年始。開館時間:8時-22時。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	市民館を適切に管理・運営し、年間168,622人の利用があった。大ホール137件、小ホール237件、会議室(計12室)5,056件。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	55,237	56,060	45,341	0		0						
事業目標	目標名	利用者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	(予算額) うち一財	千円	41,958	43,132	35,644	0	0	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	55,237	56,177		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	145,000.0	145,000.0	145,000.0	-	-	(決算額) うち一財	千円	41,685	42,863		施設廃止のため		
	実績値	153,595.0	178,990.0	168,622.0			正職員人件費	千円	220	148				
	達成度(%)	105.9%	123.4%	116.3%			人工数	人	0.03	0.02	0.37			
							支出コスト	千円	決) 55,457	決見) 56,325				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	管理運営 (施設等管理運営事業)	周南市民及び利用者	市民等に対し、市民文化活動の場を提供する。	文化振興財団との連絡調整、各種許可及び報告を緊密に行う。	市民館を適切に管理・運営し、年間168,622人の利用があった。大ホール137件、小ホール237件、会議室(計12室)5,056件。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.02	0	56,177	可	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
							A	改善案						
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④		改善案		細事業評価					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価									
	細事業の課題											
	④											
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価									
	細事業の課題											

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成18年度より、周南市文化振興財団を相手方として指定管理者制度を導入している。平成22年度の周南市版事業仕分において廃止判定を受け、平成23年度以降は単年度の指定管理を行っている。 平成25年度より、文化振興財団は公益財団法人に移行。 新庁舎建設に合せ、平成28年1月解体予定。	前年度までの指摘事項	市民館については、新庁舎建設に伴い、H26年9月議会に廃止条例を上程予定で、H27年12月までは使用可能とするが、その後解体することとしている。(H26.6.5の市議会全員協議会で説明済み) 市民館は、(公財)周南市文化振興財団を平成27年度まで、指定管理者としていたことから、今後の管理、特に、指定管理料に財団職員1名分の人件費が計上されているが、管理施設がなくなれば、市が支出する根拠がなくなることを含め、協議を行う必要がある。	指摘事項に対する改善状況	市民館解体後の残務処理のため財団職員1名分の人件費(3カ月分)については、文化振興財団運営費補助金で対応する。
	細事業の課題・問題点	指定管理者である文化振興財団を指導する一方で、緊密な連携を行う必要がある。 老朽化の著しい施設であり、新庁舎建設に合わせ、平成28年1月に解体する予定である。	事業全体の課題・問題点	施設廃止までは、周南市文化振興財団のこれまで蓄積したノウハウを活かした運営を行うが、施設廃止時期が明らかになったことから、関係課との連携を深め、利用者が円滑に移行できる環境整備を進める必要がある。		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	引き続き、指定管理者制度を活用した効率的な施設の管理運営を行うが、施設解体を見据えた利用者への説明・周知が必要である。	改善案	指定管理者制度を活用し、効果的な施設の管理運営を行いつつ、利用者の円滑な移行に向けた取り組みを進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 市民館については、新庁舎建設に伴い、H26年9月議会に廃止条例を上程し、議決済み。H27年12月までは使用可能とするが、H28年1月には解体に入ることとしている。(H26.6.5の市議会全員協議会で説明済み) 市民館は、(公財)周南市文化振興財団を平成27年度まで、指定管理者としていたことから、今後の管理、特に、指定管理料に財団職員1名分の人件費が計上されているが、管理施設がなくなるので市が支出する根拠がなくなることを含め、協議済み。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200201
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(1)文化芸術活動の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成27年12月末をもって、施設を廃止した。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	151030	事務事業名	文化振興団体助成事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)文化・芸術活動の充実			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	周南文化協会をはじめ自主的な活動団体や市民自らが行う市民参加型の文化・芸術活動の発表の場の提供に努めるとともに、こうした活動への市民の参加を促進します。			25年度市民評価の満足度	【4 文化・芸術活動】 41.40%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民、(文化振興財団、文化協会他)	意図(どういう状態にしたい): ●市民の文化活動を行う機会の増加が図られる 文化振興財団自主事業入場者数 H26目標:10,000人  文化芸術活動に触れる機会が増え、市民の文化活動が活性化する。	事業の内容 (手段)	H25 151029 市民文化推進事業費に、151011及び152011の一部事業を統合	●周南市文化振興財団、周南文化協会、周南郷土伝統芸能保存協会など、市民の文化活動を振興する団体を支援する。	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	周南市文化振興財団他が実施する事業の開催を補助支援した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	24,529	24,329	27,640	27,612		27,612						
事業目標	目標名	自主事業入場者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	(予算額) うち一財	千円	24,529	24,329	27,640	27,612	27,612	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	24,529	24,329		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	(決算額) うち一財	千円	24,529	24,329				
	実績値	10,603.0	10,703.0	10,062.0			正職員人件費	千円	366	592				
	達成度(%)	106.0%	107.0%	100.6%			人工数	人	0.05	0.08	0.15			
							支出コスト	千円	決) 24,895	決見) 24,921				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	文化振興財団運営費補助金 (ソフト事業)	(公財)周南市文化振興財団	財団が専門性やノウハウを活かし、自主的に企画する事業を進めるための人件費補助(3名分)	財団自主企画事業入場者数10,000人	移動音楽教室、中学生芸術鑑賞会、まど・みちおコスモス音楽会、文化バス、サロンコンサート、芸術鑑賞講座等、実績10,062人	正職員	0.01	臨時等	0	直接事業費	21,214	委託 否	臨時嘱託 可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 補助内容について、精査を行う必要がある。					B	改善案	補助内容の精査を行うなかで、適正な対策を検討する。					
	②	文化協会活動費補助金 (ソフト事業)	周南文化協会	22連盟の活動を支援し、市民文化の向上を図る。	目標活動会員数2,200人	実績活動会員数2,204人	正職員	0.01	臨時等	0	直接事業費	1,890	委託 否	臨時嘱託 可
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 事務局スタッフが交代し、会長も交代予定であることから、安定した運営をサポートする必要がある。					B	改善案	事務局と情報を共有し、サポートを進める						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	③	伝統文化活性化事業補助金 (ソフト事業)	周南郷土伝統芸能保存協会	市内に残る伝統芸能を後世に伝承・継承するための活動を助成する。	郷土伝統芸能保存団体数25団体	郷土伝統芸能保存団体数25団体 (実績)	0.06	0	1,225	否	可		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 伝統芸能を伝える保存会活動は、後継者不足等により困難の度が増しつつある。			細事業評価	B	改善案	各保存会と情報を共有し、サポートを進める。					
	④												
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価		改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	文化振興財団に対する退職手当清算補助は平成22年度で完了。文化振興財団は、平成25年4月から公益財団法人に移行。平成25年度から文化協会等への補助支援事業を統合して、文化振興団体助成事業とした。	前年度までの指摘事項	専門性と実績を有する文化振興財団が行う特色ある事業を支援することは、市民文化の振興に貢献している。	指摘事項に対する改善状況	文化振興財団の専門性やノウハウを活かした事業を実施するうえで、適正と考えられる人員体制を文化振興財団と連携して検討していく。
	細事業の課題・問題点	文化振興団体が行う特色ある事業については、精査の上支援を行う必要がある。	事業全体の課題・問題点	文化振興財団の公益財団法人移行を受け、次回指定管理者の更新(平成28年度)にあたって、市と財団のそれぞれが果たすべき役割について検討を進める必要がある。文化振興団体への補助支援については、内容を精査のうえ補助支援を行う。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	文化振興団体が行う特色ある事業を支援することは、市民文化の振興に貢献している。	改善案	団体の活動内容を精査しつつ、適切に支援する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	C 専門性と実績を有する文化振興財団が行う特色ある事業を支援することは、市民文化の振興に貢献している。文化振興財団の理事長が、市長となっており、文化スポーツ課業務が市長部局にあるため、双方代理の問題等があることから、見直しを検討する時期に来ている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200201
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(1)文化芸術活動の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
文化協会の事務局機能強化のために支援を継続する。 また、引き続き伝統芸能の継承のため記録映像作成を支援する。

備考



平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	合田 幸二
事務事業コード	151032	事務事業名	美術博物館管理運営事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)文化・芸術活動の充実			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	関係団体と連携しながら質の高い舞台芸術、展覧会、講演会など、特色ある本物の文化・芸術の鑑賞機会の提供に努めます。			25年度市民評価の満足度	【4 文化・芸術活動】 41.40%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民を含む近隣住民	意図(どういう状態にしたい): ●美術博物館の利用者が増加する。 利用者数 H26目標:115,000人  美術博物館を快適に利用できる。 郷土の歴史や芸術の鑑賞機会が増える。	事業の内容(手段)	●美術博物館の効率的な管理運営を行う。 ●市民に対し、質の高い美術の鑑賞機会を提供する。  指定管理者:周南市文化振興財団(H23~27)。 平成7年9月開館。展示室5、収蔵庫他。 休館日:月曜日、年末年始。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績【26年度】	施設及び収蔵美術品等を適切に管理運営し、104,688人の利用があった。展示室1~3 開催展覧会数20件(うち一般貸出11件)、使用日数251日(開館307日)。展示室4~5 常設展示。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	119,534	125,345	122,796	137,359		135,376						
事業目標	目標名	入館者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	(予算額) うち一財	千円	116,199	121,879	119,330	134,263	132,280	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	119,533	125,345		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	110,000.0	115,000.0	115,000.0	110,000.0	110,000.0	(決算額) うち一財	千円	116,691	122,758		新たな指定管理期間の開始に伴う積算見直しによる増	消費税率の改定及び指定管理料に係る債務負担行為による減	
	実績値	55,825.0	97,147.0	104,688.0			正職員人件費	千円	513	444				
	達成度(%)	50.8%	84.5%	91.0%			人工数	人	0.07	0.06	0.15			
							支出コスト	千円	決) 120,046	決見) 125,789				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	管理運営 (施設等管理運営事業)	市民を含む近隣住民	快適な施設の提供、美術鑑賞機会の提供	文化振興財団との連絡調整、各種許可及び報告を緊密に行う。(目標:115,000人)	美術博物館を適切に管理・運営し、年間104,688人の来館者を迎えて、展覧会事業等を実施したが、目標には達しなかった。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.06	0	125,345	可	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 指定管理者である文化振興財団を適切に指導するためにも、緊密な連携を行う必要がある。					細事業評価	B	改善案	文化振興の拠点施設として、適切な管理運営を実施するために、指定管理者である文化振興財団と定期的な情報交換会を行い、緊密な連携を図る。				
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価		改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他										細事業評価
	細事業の課題						改善案					
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成18年度より、周南市文化振興財団を相手方として指定管理者制度を導入している。 平成25年度より、文化振興財団は公益財団法人に移行した。	前年度までの指摘事項	美術博物館は、(公財)周南市文化振興財団を指定管理者として、管理運営しているが、業務の実態を見ると、収蔵品の取り扱いなどで市側の文化スポーツ課職員の業務量が増えている状況があることや、収益性がないこと、文化振興財団の理事長が市長であることなどから、効率性や効果の面で問題があると考えられる。この美術博物館と郷土美術資料館を指定管理者が管理代行するのか、直営業務委託とするのか、次期指定管理者選定まで(平成27年中を期限に)に、方向性を出す必要がある。	指摘事項に対する改善状況	専門性やノウハウを活かしながら、収益も見込める企画展覧会や啓発を含め市民を対象とした企画など、広く市の文化振興に資する事業に積極的に取り組むとともに指定管理者としての責任を再認識してもらうよう指導していく。
	細事業の課題・問題点	指定管理者である文化振興財団を指導する一方で、緊密な連携を行う必要がある。	事業全体の課題・問題点	指定管理者である周南市文化振興財団のノウハウを最大限に活かした運営を行う。効率的な運営を行うためには、指定管理内容について定期的に協議を持ち、再検討する必要がある。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	市民文化の振興には、施設の効果的な利用が必要である。 引き続き、指定管理者制度を活用した効率的な施設の管理運営を行う。	改善案	文化振興財団との連携を密にして、指定管理者制度を活用し効率的な施設の管理運営を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	C 美術博物館は、(公財)周南市文化振興財団を指定管理者として、管理運営しているが、業務の実態を見ると、収蔵品の取り扱いなどで市側の文化スポーツ課職員の業務量が増えている状況があることや、収益性がないこと、文化振興財団の理事長が市長であることなどから、効率性や効果の面で問題があると考えられる。この美術博物館と郷土美術資料館を指定管理者が管理代行するのか、直営業務委託とするのか、次期指定管理者選定まで(平成27年中を期限に)に、方向性を出す必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200201
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(1)文化芸術活動の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
新たな指定管理期間(5年)の開始に伴い、引き続き(公財)周南市文化振興財団による指定管理を行うこととし、必要経費について積算の見直しを行い債務負担行為による予算措置をした。 また、効率的かつ効果的な施設の運営を行うために、指定管理者との連絡調整会議は継続する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	151035	事務事業名	美術博物館資料収集事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	○
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)文化・芸術活動の充実			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	関係団体と連携しながら質の高い舞台芸術、展覧会、講演会など、特色ある本物の文化・芸術の鑑賞機会の提供に努めます。			25年度市民評価の満足度	【4 文化・芸術活動】 41.40%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民、(美術品等)	意図(どういう状態にしたい): ●特色ある芸術や、歴史を伝える資料が市民共有の財産となる。 新規収集点数 H26目標:3点	事業の内容 (手段)	●優れた美術品や周南市として特徴的な歴史資料を収集する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	資料収集委員会を開催し、宮崎進絵画作品1点及び徳山ゆかりの絵画1点と日本画1点を購入。その他宮崎進絵画作品8点及び徳山ゆかりの日本画3点の寄贈や、林忠彦賞授賞作品90点などを収集した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	5,453	5,439	4,441	4,441		4,441						
事業目標	目標名	新規収集点数(寄贈含む)	計算式	達成項目/目標項目	単位	点	事業費	(予算額) うち一財	千円	5,453	5,439	4,441	4,441	4,441
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	5,392	5,381		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		(決算額) うち一財	千円	5,392	5,381			
	実績値	10.0	14.0	15.0				正職員人件費	千円	806	813			
	達成度(%)	333.3%	466.7%	500.0%				人工数	人	0.11	0.11	0.04		
								支出コスト	千円	決) 6,198	決見) 6,194			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	資料の収集 (ソフト事業)	市民、(美術品等)	市民共有の財産として、周南市の特色ある資料を収集する。	資料収集委員会において購入及び寄贈作品について審議し、収集を行う。	絵画2点、日本画1点を購入、絵画8点と日本画3点を寄贈受入。その他林忠彦賞授賞作の受入等	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.08	0	5,007	可	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 突発的な資料購入は困難である。また収集済み資料の修復についても検討が必要である。					B	改善案	文化振興財団と連携し、計画的な収集・調査整理に努める。					
②	資料の調査 (ソフト事業)	美術品等	収蔵資料の活用を図る。	収蔵資料の撮影及びデジタルデータ化を行う。	実績:19点。まど・みちおコーナーを常設化することに伴い、作品展示用の額を作成した。	0.03	0	374	可	可				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 資料を有効に活用するために、計画的にデジタルデータ化をすることが必要である。					B	改善案	文化振興財団と連携し、計画的に進めている。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						
	④												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成15年度以降、購入を中止していたが、平成21年度から再開。購入・寄贈等により周南市ゆかりの作品を収集し、郷土の財産として体系的で充実した展示となることをめざしている。	前年度までの指摘事項	絵画等の資料収集は、必要と考える。寄贈や購入した資料が市に帰属することは明らかであるが、寄託などの収蔵品について、その所有をどうするのか整理をする必要がある。また、収蔵品の定期的な展示など、その活用を行わなければ、収蔵する意味があるのか疑問がある。	指摘事項に対する改善状況	文化振興財団と連携し、収蔵品の適切かつ有効な活用を検討する。
	細事業の課題・問題点	突発的な資料購入は困難である。また収集済み資料の修復についても検討が必要である。		事業全体の課題・問題点	文化振興財団と連携し、計画的な収集に努めている。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	周南市にとって必要な資料を収集し保存展示を行うことは、美術博物館の使命である。市民の財産としてコレクションの充実を図り、その活用に努めている。	改善案	文化振興財団と連携し、適切な収集及び活用に努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	絵画等の資料収集は、必要と考える。寄贈や購入した資料が市に帰属することは明らかであるが、寄託などの収蔵品について、その所有をどうするのか整理をする必要がある。また、収蔵品の定期的な展示など、その活用を行わなければ、収蔵する意味があるのか疑問がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200201
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(1)文化芸術活動の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
適切な収集及び活用が図られるように、文化振興財団と定期的な連絡会議を開催する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	151039	事務事業名	美術博物館特別展覧会等開催事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)文化・芸術活動の充実			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	関係団体と連携しながら質の高い舞台芸術、展覧会、講演会など、特色ある本物の文化・芸術の鑑賞機会の提供に努めます。			25年度市民評価の満足度	【4 文化・芸術活動】 41.40%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民を含む近隣住民	意図(どういう状態にしたい): ●周南市ならではの質の高い芸術の提供が可能となる。 特別展観覧者数 H26目標:8,000人	事業の内容 (手段)	●「三沢厚彦展 ANIMALS in周南」を開催 ●市民作家による「しゅうなんアート・ナウ2014」を開催  ※H25 151038 美術博物館特別展覧会開催事業費と、151041 美術博物館秀作展覧会開催事業費を統合		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	徳山動物園にゾウが贈られたことを祝う意味を込めて、動物をモチーフにした木彫り彫刻で注目を集めた「三沢厚彦展 ANIMALS in周南」を平成26年11月21日～平成27年1月18日開催。観覧者9,616人。「しゅうなんアート・ナウ2014」を4月5日～4月13日開催。出展115人。観覧者1,701人。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	15,390	11,510	11,394	11,579		12,000							
事業目標	目標名	特別展観覧者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	10,170	6,680	6,294	6,814	6,900	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	15,389	11,508	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	8,000.0	8,000.0	8,000.0	8,000.0	8,000.0	(決算額)	うち一財	千円	10,858	6,795				
	実績値	9,249.0	9,147.0	9,616.0			正職員人件費	千円	1,026	887					
	達成度(%)	115.6%	114.3%	120.2%			人工数	人	0.14	0.12	0.10				
							支出コスト	千円	決) 16,415	決見) 12,395					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		z		委託等の可否				
	①	特別展の開催 (ソフト事業)	市民を含む近隣住民	特色ある展覧会を開催して周南市の文化的魅力を周知する。	特色あるテーマを選定し、展覧会を開催する。	徳山動物園にゾウが贈られたことを祝う意味で、動物をモチーフにした木彫り彫刻で有名な「三沢厚彦展」を開催。観覧者9,616人。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	可		
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 市の特色あるテーマでの展覧会開催には、事前準備の期間を十分に確保する必要がある。						細事業評価								
	B	改善案	委託先である文化振興財団と連携を図りながら、効果的なテーマを選定して展覧会を開催する。												
	②	アート・ナウの開催 (ソフト事業)	市民及び作家	市民の作品発表の場及び鑑賞の場を提供する。	作家に出品依頼を行い、展覧会を開催する。	4月5日～4月13日開催。出展115人。観覧者1,701人。	0.11	0	393	可	可				
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 出品依頼作家の増加により、展覧会内容を見直す必要がある。市美展との統合は、展示スペースが絶対的に不足するため困難である。						細事業評価									
B	改善案	アート・ナウの開催方法については、関係者と協議を進めている。													

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	美術博物館の開館以来、年1回、高いレベルの芸術または周南市ならではの意義ある展覧会を開催している。 「尾崎正章」「宮崎進」「まど・みちお」「徳山毛利家」「児玉源太郎」 文化振興財団は、平成25年度から公益財団法人に移行。	前年度までの指摘事項	特別展は、市が指定管理者に委託して実施している。この特別展は、市が収蔵している絵画等の展示に方向転換し、その他の展示については、節目に実施するなどの見直しの検討が必要と考える。アート・ナウについては、開催方法の見直しなどを継続検討する。	指摘事項に対する改善状況	美術博物館開館20周年記念として「まど・みちお」の展覧会を行う。 アート・ナウについては、開催時期も含めて文化振興財団と協議を継続して行っている。
	細事業の課題・問題点	特別展については、市が主催し文化振興財団へ業務を委託しているが、調査研究に時間を要する場合もあり、計画的なテーマ選定が必要である。 アート・ナウについては、出品依頼作家の増加により、展覧会内容を見直す必要がある。また市美展との合同開催について指摘を受けているが、展示スペースが絶対的に不足するため統合は困難である。	事業全体の課題・問題点	特別展については、計画的なテーマ選定及び予算措置の必要があるが、指定管理期間が影響する。 アート・ナウについては関係者と協議を進めているが、市美展との合同開催は、展示スペースの問題から困難と考えるが、開催時期も含めて、年間スケジュールの組み替えも視野に入れながら検討を続けていく。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	周南市の特色ある展覧会である。 市としても市民の文化振興に役立つ企画となるよう努めている。	改善案	文化振興財団と連携しつつ、内容を精査のうえ効果的な展覧会を開催する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 特別展は、市が指定管理者に委託して実施している。この特別展は、市が収蔵している絵画等の展示に方向転換し、その他の展示については、節目に実施するなどの見直しの検討が必要と考える。アート・ナウについては、開催方法の見直しなどを継続検討する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200201
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(1)文化芸術活動の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
質が高く反響のある芸術を提供し特色ある展覧会となるように、文化振興財団と連携しテーマ選定など事業内容の検討を続ける。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	151047	事務事業名	美術博物館企画事業助成事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)文化・芸術活動の充実			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	関係団体と連携しながら質の高い舞台芸術、展覧会、講演会など、特色ある本物の文化・芸術の鑑賞機会の提供に努めます。			25年度市民評価の満足度	【4 文化・芸術活動】 41.40%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民を含む近隣住民、(全国)	意図(どういう状態にしたい): ●本市からの全国発信を行って市民の誇りを高めるとともに、市民に質の高い芸術の提供が可能となる。 企画事業観覧者数 H26目標:35,000人  芸術に親しむ市民が増える。 周南市の文化的知名度が向上する。	事業の内容 (手段)	●全国発信事業である「林忠彦賞」を運営し、周南市文化振興財団主催の企画展「いわむらかずお絵本原画展」「ウルトラセブン展」や「周南人物列伝」の開催を支援。  ※H25 151044 美術博物館企画展覧会開催費助成事業費を統合。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	「第23回林忠彦賞」(授賞式4月18日、関係者170人。東京展4月18日～24日、観覧者8,668人。周南展5月16日～25日、観覧者1,704人。) ・「周南人物列伝展」9月18日～28日、観覧者689人。「美術博物館講座」3回、参加者80人。 ・「いわむらかずお絵本原画展」6月6日～7月21日、観覧者数12,228人。「ウルトラセブン展」8月1日～9月15日、観覧者数16,714人。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	14,652	14,457	14,323	14,353		14,323							
事業目標	目標名	企画事業観覧者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	14,652	14,457	14,323	14,353	14,323	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	10,654	11,299	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	35,000.0	35,000.0	35,000.0	35,000.0	35,000.0	(決算額)	うち一財	千円	10,654	11,299				
	実績値	21,534.0	40,886.0	40,253.0			正職員人件費	千円	366	370					
	達成度(%)	61.5%	116.8%	115.0%			人工数	人	0.05	0.05	0.03				
							支出コスト	千円	決) 11,020	決見) 11,669					
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否				
	①	林忠彦賞企画運営費補助 (ソフト事業)	市民及び写真愛好家、出品者、観覧者	林忠彦賞をはじめ、特色ある展覧会等を提供する。	文化振興財団に対し効果的な補助支援を行う。目標:9,000人。	実績:10,542人。第23回林忠彦賞の展覧会及び第24回審査を開催した。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	可		
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他						細事業評価								
	細事業の課題	林忠彦賞は周南発の全国発信事業であり、支援を継続する必要がある。					B	改善案	文化振興財団との意見交換及び連携を密にして、内容を精査する。						
	②	企画展覧会開催費補助 (ソフト事業)	市民及び観覧者	全国的な美術作品を鑑賞する機会を提供する。	文化振興財団に対し効果的な補助支援を行う。目標:25,000人。	実績:28,942人。いわむらかずお絵本原画展(12,228人)、ウルトラセブン展(16,714人)	0.02	0	172	可	可				
細事業の課題	内容を精査のうえ補助支援を行っているが、展覧会内容による観覧者の増減がある。					B	改善案	文化振興財団との意見交換及び連携を密にして、内容を精査する。							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	③	企画事業費補助 (ソフト事業)	市民及び観覧者	美術博物館の取り組みに親しむ機会を提供するとともに、周南市ゆかりの人物を顕彰する。	文化振興財団に対し効果的な補助支援を行う。目標：1,000人。	実績：769人。3講座(80人)、周南人物列伝(689人)		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
				<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他	細事業評価								
				美術博物館講座及び周南市ゆかりの人物を紹介する人物列伝は、地域に密着した特色ある事業であるので、より多くの参加者を得て事業効果を上げる必要がある。	B	改善案	効果的な周知等について、文化振興財団と協議する。						
				<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他	細事業評価								
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	<p>林忠彦賞は平成3年から実施。文化振興財団が賞のレベル向上に努めている。また平成24年度から周南人物列伝展を開催している。開館以来、魅力ある展覧会(年2回)を財団主催により開催している。文化振興財団は、平成25年度から公益財団法人に移行。</p>	<p>林忠彦賞により全国発信するとともに、文化振興財団との連携を図りつつも、財団の主体性の発揮により、質の高い特色ある芸術の提供に努める。</p>	<p>美術博物館では、周南市にゆかりのある人物の資料収集や展示等を行っており、「まど・みちお」の常設展示も始めたところである。市民に美博を身近に感じてもらえる企画を文化振興財団の主導で実施する。</p>
細事業の課題・問題点	事業全体の課題・問題点	事業全体の課題・問題点	事業全体の課題・問題点
	<p>林忠彦賞の価値を高めていく必要がある。内容を精査のうえ補助支援を行っているが、展覧会内容による観覧者の増減がある。企画事業は市民への文化啓発の意味から継続が必要であるが、集客力が高いとは言えない。</p>	<p>林忠彦賞は関係者等には認知され評価も高いと感じているが、広く市民への周知と認知が必要である。企画展は、質や内容を文化振興財団と協議を重ね、必要な補助支援を行う必要がある。企画事業は、市民文化の裾野を広げられるように企画内容等を検討し、実施に必要な補助支援を行う必要がある。</p>	

所管課評価				
評価	B	<p>A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討</p>	<p>評価理由</p> <p>林忠彦を顕彰して創設された全国発信事業である。市の知名度や文化的イメージの向上に寄与しており、継続して効果的に実施する必要がある。また、企画展は質の高い展覧会とするべく、そして企画事業は市民の文化啓発に繋がる内容に精査のうえ補助支援を行う必要がある。</p>	<p>改善案</p> <p>文化振興財団と意見交換及び連携を密にして、内容を精査する。</p>

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B
	<p>林忠彦を顕彰して創設された全国発信事業であり、継続して効果的に実施する必要があるが、企画展のあり方、指定管理料と補助金の考え方の再検証が必要である。</p>

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200201
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(1)文化芸術活動の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
<p>美術博物館を身近に感じてもらい、市民文化の啓発に繋がるように、幅広い世代に受け入れられる企画内容とする。また、全国への文化発信と本市ゆかりの人物を顕彰することで、本市の魅力と郷土への誇りを高める。</p>

備考



平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	151050	事務事業名	美術博物館整備事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	○
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)文化・芸術活動の充実			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	関係団体と連携しながら質の高い舞台芸術、展覧会、講演会など、特色ある本物の文化・芸術の鑑賞機会の提供に努めます。			25年度市民評価の満足度	【4 文化・芸術活動】 41.40%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 施設及び周南市民、利用者	意図(どういう状態にしたい): 安心安全が確保され、快適な環境の中で、優れた文化・芸術にふれる機会が充実される。	事業の内容(手段)	ライフサイクルコストを見据えた計画的な設備・施設改修を行い、長寿命化を進める。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	池ろ過循環設備修繕、非常用発電機分解整備、非常用発電設備蓄電池更新、噴水5方弁修理を行った。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	直接事業費		千円	16,695	11,193	26,903		14,081	99,151							
事業目標	目標名	計画的な施設・設備改修	計算式	単位			(予算額) うち一財	千円	10,871	5,154	5,264	14,081	24,851			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	15,960	11,891		対27年度増減理由	対28年度増減理由			
	目標値	取蔵庫空調機更新	二酸化炭素消火設備更新	池ろ過装置改修他	屋上防水改修工事	展示壁面改修他	(決算額) うち一財	千円	10,056	5,852		展示室壁面改修等	EV改修工事、防災監視盤改修工事等			
	実績値	取蔵庫空調機更新	二酸化炭素消火設備更新	池ろ過装置改修他			正職員人件費	千円	440	296						
	達成度(%)						人工数	人	0.06	0.04	0.17					
							支出コスト	千円	決) 16,400	決見) 12,187						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否					
	①	整備の実施 (施設等整備事業)	市民を含む近隣住民	利用者の安心安全の確保及び快適な利用促進	計画的な整備の実施	池ろ過循環設備修繕、非常用発電機分解整備、非常用発電設備蓄電池更新、噴水5方弁修理	正職員	0.04	臨時等	0	直接事業費	11,891	委託	可	臨時嘱託	可
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 施設の老朽化の進行に計画的に対処する必要がある。						細事業評価									
	②						B	改善案	指定管理者である文化振興財団や建築課とも連携しながら、計画的な整備を進める。							
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価										
						改善案										

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成7年3月竣工から19年を迎え、大規模な改修を要する箇所への対応が必要となっている。 指定管理者制度のもと、軽微な修繕は指定管理者が行っている。	前年度までの指摘事項	長期的な改修計画を立て、計画的な整備を進める。	指摘事項に対する改善状況	文化振興財団や建築課等の意見を聞きながら、施設の状況を把握し、財政課にも相談しながら財源確保に努め、計画的な整備を行う。
	細事業の課題・問題点	周南市の文化拠点施設であるが、建設から20年を迎え、施設及び設備の老朽化が進んでいる。	事業全体の課題・問題点	美術品等を収蔵・展示することから、特に空調に細心の注意を払い、年間を通じて適正に温湿度を維持する必要がある。 収蔵能力が不足しつつある。 修繕や改修が必要となる前のメンテナンスが必要である。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	専門施設として収蔵・展示に万全を期し、快適に鑑賞する環境を維持するため、計画的な整備を進めている。	改善案	文化振興財団や建築課の意見を聞きながら、長期的な改修計画を立て、計画的な整備を進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 長期的な改修計画を立て、計画的な整備を進める。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200201
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(1)文化芸術活動の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
施設を長期的に維持し、快適な鑑賞環境を保つために計画的な改修を行う。(1995年の開館以来、初めての壁面改修工事を行う)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	151053	事務事業名	郷土美術資料館管理運営事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)文化・芸術活動の充実			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	関係団体と連携しながら質の高い舞台芸術、展覧会、講演会など、特色ある本物の文化・芸術の鑑賞機会の提供に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【4 文化・芸術活動】	41.40%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民を含む近隣住民	意図(どういう状態にしたい): ●郷土美術資料館の利用者が増加する。 入館者数 H26目標:8,000人  郷土美術資料館を快適に利用できる。 郷土美術の鑑賞機会が増える。	事業の内容 (手段)	●郷土美術資料館の効率的な管理運営を行う。 ●市民に対し、身近に美術の鑑賞機会を提供する。  指定管理者:周南市文化振興財団(H23~27)。 1年を4期に分け、尾崎正章常設展と郷土作家による企画展を同時開催。 ワークルームでは市内児童等の作品を展示。 平成7年8月開館。休館日 月曜日、年末年始。入館料200円。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	4月1日～6月8日「林忠彦写真展」、6月28日～8月31日「西尾司ジャンクアート展」、10月11日～12月14日「田畑三男 陶のあかり展」、平成27年1月17日～3月15日「中村幸枝絵画展」。展覧会に合わせてワークショップやコンサートを開催。企画展を尾崎正章常設展と同時開催。入館者数10,416人。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	12,180	14,951	12,528	15,491		13,028						
事業目標	目標名	入館者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	(予算額) うち一財	千円	11,904	14,669	12,246	15,215	12,752	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	12,180	14,951		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	8,000.0	8,000.0	8,000.0	8,000.0	8,000.0	(決算額) うち一財	千円	11,972	14,623		新たな指定管理期間の開始に伴う積算見直しによる増	消費税率の改定及び指定管理料に係る債務負担行為による減	
	実績値	6,852.0	6,655.0	10,416.0			正職員人件費	千円	147	148				
	達成度(%)	85.7%	83.2%	130.2%			人工数	人	0.02	0.02	0.02			
							支出コスト	千円	決) 12,327	決見) 15,099				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	管理運営 (施設等管理運営事業)	市民を含む近隣住民	快適な施設の提供、美術鑑賞機会の提供	文化振興財団との連絡調整、各種許可及び報告を緊密に行う。(目標:8,000人)	郷土美術資料館を適切に管理・運営し、目標を上回る年間10,416人の来館者を迎えて、展覧会事業等を実施した。	正職員 0.02 臨時等 0	直接事業費 14,951	委託 可	臨時嘱託 可				
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
	指定管理者である文化振興財団と緊密な連携を行う必要がある。公園内ということで、立地を活かした事業展開が必要であるとともに、施設の整備も必要となる。						B	改善案	指定管理者である文化振興財団と連携を密にし、開館日数や運営方法等を含めた抜本的な見直しを行う。					
②														
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
細事業の課題							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成20年度より、周南市文化振興財団を相手方として指定管理者制度を導入している。 平成25年度より、文化振興財団は公益財団法人に移行。	前年度までの指摘事項	1日あたり利用者数は非常に少なく、開館日数、運営方法を含め、抜本的な見直しが必要である。空調も全館空調となっていることや収蔵庫の水漏れが止まらないなど、問題を抱えている。早急な見直しが必要。	指摘事項に対する改善状況	ジャンルの違うユニークな展覧会の開催や、その開催に合わせた体験型のワークショップやコンサートの実施が、入館者の増加につながった。認知度のアップが期待できたことから、文化振興財団と引き続き魅力ある展覧会の開催を検討する。
	細事業の課題・問題点	指定管理者である文化振興財団を指導する一方で、緊密な連携を行う必要がある。施設が老朽化していることから、館の運営方針を検討する必要がある。公園内という立地を活かした事業展開が必要である。	事業全体の課題・問題点	空調設備の更新や施設の老朽化に対する計画が必要である。永源山公園内という立地を活かした運営が必要である。尾崎顕彰の目的を果たしつつ、地域に根ざした活動や、展覧会や地域の公園内のイベントに合わせた企画事業を検討する。効率的な運営を行うためには、指定管理内容について定期的に再検討する必要がある。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	市民文化の振興には、施設の効果的な利用が必要である。指定管理者制度を活用した効率的な施設の管理運営を行う。	改善案	美術博物館との更なる連携と、その一方で差別化を図るため、永源山公園内に立地することのアピールや、利用拡充の取り組みを進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	C 1日あたり利用者数は非常に少なく、開館日数、運営方法を含め、抜本的な見直しが必要である。空調も全館空調となっていることや収蔵庫の雨漏りが止まらないなど、問題を抱えている。早急な見直しが必要。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200201
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(1)文化芸術活動の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
新たな指定管理期間(5年)の開始に伴い、引き続き(公財)周南市文化振興財団による指定管理を行うこととし、必要経費について積算の見直しを行い債務負担行為による予算措置をした。 また、効率的かつ効果的な施設の運営を行うために、指定管理者との連絡調整会議は継続する。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	151066	事務事業名	須金和紙センター管理運営事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)文化・芸術活動の充実			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	周南文化協会をはじめ自主的な活動団体や市民自らが行う市民参加型の文化・芸術活動の発表の場の提供に努めるとともに、こうした活動への市民の参加を促進します。			25年度市民評価の満足度	【4 文化・芸術活動】 41.40%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民	意図(どういう状態にしたい): ●須金和紙センターの利用者が増加する。 利用者数 H26目標 400人  地域に根ざした伝統文化の維持が図られる。	事業の内容 (手段)	●須金和紙センターの効率的な管理運営を行う。 ●地域にねざした伝統文化の維持発展を図る。  和紙づくりを伝承・体験する機会を提供する。 H3開館。 ※H25 機構改革に伴い、152007 文化財等管理事業費から分割		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	和紙センター入館者数425人						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	391	404	402	408
事業目標	目標名	入館者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	(予算額) うち一財	千円	391	404	402	408	402
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	385	421		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	-	400.0	400.0			(決算額) うち一財	千円	385	421			
	実績値	-	517.0	425.0			正職員人件費	千円	73	74			
	達成度(%)		129.3%	106.3%			人工数	人	0.01	0.01	0.01		
							支出コスト	千円	決) 458	決見) 495			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	①	管理運営 (施設等管理運営事業)	来館者	施設を快適に利用できる	入館者数400人	入館者数425人	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
							0.01	0	421	可	可		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 施設の老朽化が進行している。改修には一定の経費が必要となる。					B	改善案	地元団体と協議を進めつつ、施設の計画的な改修を行う。				
	②												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
④														
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成3年に建設。須金地区に伝わる紙漉き体験を行っている。	前年度までの指摘事項	須金地域の施設として、須金支所・公民館の施設とすることを検討すべきである。	指摘事項に対する改善状況	地域に伝わる伝統工芸の伝承という観点から所管しているが、地域活動の施設でもあり、須金和紙振興協議会の事務局は公民館にあることから、地元団体及び関係課と連携・協議を重ねていく。
	細事業の課題・問題点	施設の老朽化が進行している。		事業全体の課題・問題点	地元団体及び関係課と連携を図り、施設のPRと活用を進める。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	伝統文化を伝承する施設として、発信力を高めるため、地元団体や関係課と協議を進める必要がある。	改善案	施設の発信力を高めることについて、地元団体や関係課と協議を進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 須金地域の施設として、須金支所・公民館の施設とすることを検討すべきである。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200201
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(1)文化芸術活動の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
必要最小限の予算措置であり、また地元関係団体や関係課との連携を図る。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	151070	事務事業名	まど・みちお追悼行事開催事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)文化・芸術活動の充実			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	周南文化協会をはじめ自主的な活動団体や市民自らが行う市民参加型の文化・芸術活動の発表の場の提供に努めるとともに、こうした活動への市民の参加を促進します。			25年度市民評価の満足度	【4 文化・芸術活動】 41.40%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民を含む近隣住民	意図(どういう状態にしたい): ●本市出身のまど・みちお氏の逝去を悼み、故人の精神を伝える事業を開催することで、市民文化の振興に寄与する。	事業の内容 (手段)	●美術博物館で「まど・みちお追悼展」(4月16日～6月1日)を開催 ●文化会館で「まど・みちお追悼コンサート」(5月11日)を開催		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	美術博物館で「まど・みちお追悼展」(4月16日～6月1日)を開催 文化会館で「まど・みちお追悼コンサート」(5月11日)を開催						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円		2,376										
事業目標	目標名	追悼展入館者	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円		2,376			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円			2,376		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値			5,000.0			(決算額)	うち一財	千円		2,376			
	実績値			6,597.0			正職員人件費	千円		0	0			
	達成度(%)			131.9%			人工数	人			0.00			
							支出コスト	千円		#VALUE!	決見) 2,376			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		まど・みちお追悼行事事業 (ソフト事業)	市民の含む近隣住民	「まど・みちお」の出身地としての発信哀悼の意を込めた追悼行事を開催する。	常設展の設置と追悼事業への支援	まど・みちお追悼展と追悼コンサートの開催支援	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
								0	0	2,376	可	可		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 まど・みちお氏の追悼を一過性のものとせず、その業績を継続的に顕彰する必要がある。				A	改善案	追悼行事を実施した。					
②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
④														
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	(単年の補正予算事業のため、なし)	前年度までの指摘事項	(単年の補正予算事業のため、なし)	指摘事項に対する改善状況	(単年の補正予算事業のため、なし)
		細事業の課題・問題点	まど・みちお氏の追悼を一過性のものとせず、その業績を継続的に顕彰する必要がある。	事業全体の課題・問題点	まど・みちお氏の追悼を一過性のものとせず、その業績を継続的に顕彰する必要がある。	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	まど・みちお氏に対する市民の哀悼の意を示すことができた。	改善案	追悼事業を行った意義を、常設コーナーなどを通じて継続させていく方法を文化振興財団と協議する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A
	追悼行事完了。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200201
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(1)文化芸術活動の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
	予算措置なし

備考	



平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	151071	事務事業名	まど・みちお顕彰事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)文化・芸術活動の充実			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	周南文化協会をはじめ自主的な活動団体や市民自らが行う市民参加型の文化・芸術活動の発表の場の提供に努めるとともに、こうした活動への市民の参加を促進します。			25年度市民評価の満足度	【4 文化・芸術活動】 41.40%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民を含む近隣住民	意図(どういう状態にしたい): ●本市出身のまど・みちお氏の業績を顕彰する事業を開催することで、市民文化の振興に寄与する。	事業の内容 (手段)	●美術博物館に「まど・みちおコーナー」(11月16日～)を設置		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	美術博物館に「まど・みちおコーナー」(11月16日～)を設置						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円		2,838		
事業目標	目標名	常設展入場者	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額) うち一財	千円		2,838			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円		2,838		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値			10,000.0			(決算額) うち一財	千円		2,838			
	実績値			11,808.0			正職員人件費	千円	0	0			
	達成度(%)			118.1%			人工数	人		0.00			
							支出コスト	千円	#VALUE!	決見) 2,838			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	① まど・みちお顕彰事業 (ソフト事業)		市民の含む近隣住民	「まど・みちお」の出身地としての発信力向上と、業績を顕彰する。	常設展の設置	美術博物館にまど・みちおコーナーを常設設置	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 まど・みちお氏の追悼を一過性のものとせず、その業績を継続的に顕彰する必要がある。				A	改善案	文化振興財団と連携し、常設コーナーの周知を図るとともに、定期的な展覧会の開催を検討する。				
	②												
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	(単年の補正予算事業のため、なし)	前年度までの指摘事項	(単年の補正予算事業のため、なし)	指摘事項に対する改善状況	(単年の補正予算事業のため、なし)
		細事業の課題・問題点	まど・みちお氏の追悼を一過性のものとせず、その業績を継続的に顕彰する必要がある。	事業全体の課題・問題点	文化振興財団と協議をしながら、常設コーナーの展示内容を定期的に更新するなど、検討する必要がある。	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	まど・みちお氏の業績を市として顕彰することはできた。	改善案	常設コーナーなどを通じて顕彰を継続させていく運営方法を文化振興財団と協議する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	A	顕彰事業完了。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200201
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(1)文化芸術活動の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
	予算措置なし

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	151092	事務事業名	【繰越】文化会館耐震診断実施事業費(経済対策関連)	事業の分類	(施設等整備事業)
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	○
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)文化・芸術活動の充実			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	関係団体と連携しながら質の高い舞台芸術、展覧会、講演会など、特色ある本物の文化・芸術の鑑賞機会の提供に努めます。			25年度市民評価の満足度	【4 文化・芸術活動】 41.40%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 施設及び周南市民、利用者	意図(どういう状態にしたい): 安心安全が確保され、快適な環境の中で、優れた文化・芸術にふれる機会が充実される。	事業の内容 (手段)	ライフサイクルコストを見据えた計画的な設備・施設改修を行い、長寿命化を進める。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	文化会館の耐震診断を行う。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円		11,664			
事業目標	目標名	計画的な施設・設備改修	計算式		単位		(予算額) うち一財	千円		5,852				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円		9,769		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値			耐震診断			(決算額) うち一財	千円		7,167				
	実績値			耐震診断			正職員人件費	千円	0	518				
	達成度(%)						人工数	人	0.00	0.07	0.00			
							支出コスト	千円	決) 0	決見) 10,287				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 整備の実施 (施設等整備事業)		施設及び周南市民、利用者	利用者の安心安全の確保及び快適な利用促進	計画的な整備の実施	文化会館の耐震診断を行う。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.07	0	9,769	可	可			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 地震対策検討のため、施設の耐震度を測定する必要がある。			A	改善案	耐震二次診断を行った。						
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成12年度から5年をかけて大規模修繕を行い、平成24年には開館30周年を迎えた。指定管理者制度のもと、軽微な修繕は指定管理者が行っている。	前年度までの指摘事項	耐震2次診断を行い、結果を受けて施設整備計画の見直しを行う。	指摘事項に対する改善状況	全館において目標とする構造耐震判定指標を上回る結果となった。
	細事業の課題・問題点	耐震性があることは判明したが、建設から30年以上が経過していることから、定期的なメンテナンスは必要である。		事業全体の課題・問題点	周南地域最大の文化拠点施設であり、また避難施設とされているが、建設から30年以上が経過していることから、定期的なメンテナンスは必要となる。	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	災害時の避難施設として必要な耐震性を有する。	改善案	長期的な改修計画を立て、計画的な整備を進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 耐震2次診断完了。屋体耐震確認。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200201
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(1)文化芸術活動の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
予算措置なし

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	17042	事務事業名	徳山港町分庁舎管理運営事業	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策				【スポーツ・リクリエーションの振興】	40.50%
	推進施策の展開	それぞれのライフステージにおいて、興味や関心をもち継続してスポーツに親しめる機会や環境づくりに取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【スポーツ等の振興】	45.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民及び市職員		意図(どういう状態にしたい): 文化スポーツ課及び生涯学習課(文化財保護担当)の事務所として使用する分庁舎の維持管理を行い、業務の円滑な遂行が図られる。		事業の内容 (手段)	●文化スポーツ課及び生涯学習課(文化財保護担当)の事務所である徳山港町分庁舎の管理

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	徳山港町庁舎の維持管理 ●文化スポーツ課及び生涯学習課(文化財保護担当)の事務所(延床面積354.7㎡) ●文化スポーツ課等の備品倉庫 ●防災危機管理課の防災資機材倉庫(46.5㎡) ●倉庫余裕スペースを行政財産目的外使用許可により貸出(レスリング)				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	1,150	1,115		0	0	0				
事業目標	目標名	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額) うち一財	千円	1,143	1,108	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,095	1,071	対27年度増減理由 対28年度増減理由	
	目標値						(決算額) うち一財	千円	1,088	1,064	教育政策課へ所管換	
	実績値						正職員人件費	千円	440			
	達成度(%)						人工数	人	0.06	0.06		
							支出コスト	千円	決見) 1,535	決見) 1,071		
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否		
	①	徳山港町分庁舎管理運営事業 (施設管理運営事業)	事務庁舎管理	庁舎及び倉庫の維持管理	経費削減に努める	経費削減に努めた。		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託
								0.06	0	1,071	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 施設の直接の維持管理経費だけでなく、地域振興部の事務所である港町庁舎や本庁と離れた場所に位置しており、庁舎間の移動が多く、事務執行上のロス(時間、情報共有等)が多く、非効率である。 また、本事務所は海拔2.8mに位置し、防災資機材倉庫として不適と思われる。				B	改善案	新庁舎の整備にあわせ、移転すべきであるが、当面は経費節減を進めていく。				
②												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④		改善案		細事業評価						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価										

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
	分庁舎の建物は、(財)建材試験センターから無償譲渡を受けたもので、平成21年度の機構改革により、教育委員会市民スポーツ課と生涯学習課文化担当を統合して、文化スポーツ課を新設したことに伴い、事務所として活用している。その後、平成25年度に教育委員会から文化財保護を除く文化スポーツ業務を市長部局に移管し、現在に至っている。		施設の直接の維持管理経費だけでなく、地域振興部の事務所である徳山港町庁舎や本庁と離れた場所に位置しており、庁舎間の移動が多く、事務執行上のロス(時間、情報共有等)が多く、非効率である。	文化スポーツ課を徳山港町庁舎に移転し、教育委員会徳山港町庁舎として活用。予算は、教育委員会に対応。
			施設の直接の維持管理経費だけでなく、地域振興部の事務所である徳山港町庁舎や本庁と離れた場所に位置しており、庁舎間の移動が多く、事務執行上のロス(時間、情報共有等)が多く、非効率である。また、本事務所は海拔2.8mに位置し、防災資器材倉庫として不適と思われる。新庁舎の整備と合わせ移転する必要がある。	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	文化スポーツ課を徳山港町庁舎に移転し、教育委員会徳山港町庁舎とした。また、防災資器材も移設した。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 文化スポーツ課を徳山港町庁舎に移転した。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	
分野	#N/A
基本施策	#N/A
推進施策	#N/A

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
文化スポーツ課を徳山港町庁舎に移転済み。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	017056	事務事業名	スポーツ振興一般事務	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)スポーツを楽しむ環境づくり			[ ]	40.50%
	推進施策の展開	それぞれのライフステージにおいて、興味や関心をもち継続してスポーツに親しめる機会や環境づくりに取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
		[ ]	45.80%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民及び各大会等参加者	意図(どういう状態にしたい): 市民が取り組むスポーツ活動に対し行政として積極的にサポートすることで、市民の自発的な活動を促し、スポーツ社会の進展が図られる。	事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内で開催されるスポーツコンベンションや各種大会に対して、共催や後援の支援を行う。</li> <li>●学校施設のスポーツ開放を実施する。</li> <li>●中国山口駅伝に対する助成を行う。</li> </ul>		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		周南市文化スポーツ課所管・教育委員会(スポーツ関係)共催・後援件数 136件						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
【26年度】									直接事業費	千円	1,184	1,371	944	2,073	2,073		
								(予算額)	うち一財	千円	1,184	1,371	944	2,073	2,073		
事業目標	目標名	後援・共催件数		計算式	達成項目/目標項目		単位	%	直接事業費	千円	930	1,163		対27年度増減理由	対28年度増減理由		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度			(決算額)	うち一財	千円	930	1,163		世界大会等キャンプ地誘致の取組による増		
	目標値	120.0	120.0	150.0	150.0	150.0			正職員人件費	千円	2,417						
	実績値	116.0	138.0	136.0					人工数	人	0.33	0.38					
	達成度(%)	96.7%	115.0%	90.7%					支出コスト	千円	決) 3,347	決見) 1,163					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		コスト		委託等の可否	
	①	スポーツ振興一般事務	周南市民ほか		市内で開催されるスポーツコンベンションや各種大会に対して、共催や後援の支援を行う。		スポーツ振興を促進するための共催・後援件数150件		共催・後援認定はほぼ前年度と同伴数で目標は達成できなかった。			0.14		1,041		否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他														
	市内等で開催されるスポーツコンベンションや大会等が増加することは、スポーツ振興を図る上で有益であるが、開催件数の増加は各種活動団体等の取り組みの活性化が不可欠である。また、後援申請等が、施設等使用料の減免が目的とならないよう留意する必要がある。		B	改善案	申請者に対し、主旨と目的を確認し、共催や後援等の必要性を精査するとともに、毎年開催される大会等、定例的なものへの手続きの簡素化を検討する必要がある。												
②	スポーツ開放 (経常的事務事業)	周南市民ほか		学校施設を利用したのスポーツ活動の推進		施設を有効活用し、住民ニーズを満たすためのスポーツ開放施設数32施設及び利用団体数220団体		ほぼ目標を達成した。実績31施設、219団体			0.09		22		否		
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他															
スポーツ開放は学校施設を利用しており、学校教育に支障のない範囲で行うことから教育委員会との連携が不可欠である。		B	改善案	学校施設や企業等の施設を活用することは、スポーツを行う場として重要となることから、拡大に向けた取り組みを進める必要がある。													

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	③	中国山口駅伝 (ソフト事業)	周南市民及び大会主催者、参加者	大会運営に対する助成(補助金)	大会運営を円滑にし、市民に身近な大会になるようサポートする(大会参加者数(観衆、ボランティア等を含む)1,000人)	大会は予定どおり開催、大会参加者実績1,315人	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	可	
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価										
	細事業の課題	中国山口駅伝の郡市の部では、本市が第72～74回大会に3連覇するなど大いに盛り上がり、沿道で多くの市民が声援し、駅伝の楽しさが十分に伝わる大会となっている。課題としては、周南市においても走路補助員等に地区のスポーツ団体から協力があり、定着化している大会であるが、ゴール地点であるため宿泊等のコンベンションでは効果が弱い。				B	改善案	スポーツコンベンションとしての効果が発揮できるよう、大会運営(スタート・ゴール等)の主催者や周南市陸上競技協会と協議する。					
	④												
	細事業の課題	細事業評価											
		改善案											

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	近年、マラソンや駅伝等に対する関心が高まっている。また、スポーツの多様化などの影響から、学校施設や企業施設等の活用を含めた対応が必要となっている。	前年度までの指摘事項	少子化や超高齢社会を迎える中で、新たなスポーツ施設(ハード)を整備することは、避けなければならない。しかしながら、今後もスポーツの多様化は進むものと考えられることから、学校や企業施設の活用を検討するなど、スポーツ開放施設の拡充を促進する必要がある。中国山口駅伝がスポーツコンベンションと位置付けられる(周南市内に経済効果が出るような仕掛け)ような取り組みを検討する必要がある。	指摘事項に対する改善状況	関係者との協議により、山口読売駅伝については26年度から郡市代表の周南市チームの派遣について、市陸上競技協会に対応することとした。需用費や複写機使用料等の事務的経費の削減に努める。(△222千円)
	細事業の課題・問題点	文化スポーツ課が市長部局に移管されたことから、周南市教育委員会と周南市の共催、後援申請の取り扱いについては大きなトラブルもなく対応できた。スポーツ開放については、使用料等の取り扱いが学校施設使用条例に定めてあり、今後より一層、教育委員会と連携して効率的な事務処理を検討することが必要と考える。 中国山口駅伝については、周南市がゴール地点であるため、する、観る、支える人が関わる大会として非常に有意義な大会であるが、山口読売駅伝については、今年度より周南市チームの派遣について、周南市陸上競技協会において自主的に対応した。	事業全体の課題・問題点	スポーツ社会の実現のため、スポーツ活動をする市民のすそ野を広げる必要がある。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	関係団体と引き続き調整を行い、役割を明確にしていく。	改善案	山口読売駅伝については、市の関わり方について周南市陸上競技協会と協議を進めていく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 少子化や超高齢社会を迎える中で、新たなスポーツ施設(ハード)を整備することは、避けなければならない。しかしながら、今後もスポーツの多様化は進むものと考えられることから、学校や企業施設の活用を検討するなど、スポーツ開放施設の拡充を促進する必要がある。 中国山口駅伝がスポーツコンベンションと位置付けられる(周南市内に経済効果が出るような仕掛け)ような取り組みを検討する必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200303
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(3)スポーツ環境の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
より一層スポーツ社会の進展を図るため、新たに世界大会等キャン地誘致活動に取り組む。

備考



平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	17057	事務事業名	体育協会関連事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3)スポーツを極める人づくり			【スポーツ・リクリエーションの振興】	40.50%
	推進施策の展開	競技スポーツの一層の充実のために関係団体などが連携し競技力向上へ一体となった体制づくりや施設の整備に努めます。				25年度市民評価の満足度
					【スポーツ等の振興】	45.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民及び体育協会加盟団体の構成員		意図(どういう状態にしたい): 山口県体育大会、国体等への参加も含め、全国規模の大会に出場するなど、競技力等の向上が図られる。 (県体・国体への選手等派遣 H26目標:950人)		事業の内容 (手段)	●市民等のスポーツへの関心を高め競技力の向上を図るため、体育協会へ運営費を補助 ●スポーツコンベンション推進のため、全国大会等誘致開催に対する補助

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	周南市体育協会へ運営費の補助を行い、結果として、山口県・国民体育大会へ774人(山口県体育大会27種目702名、国体19種目72名)の選手を派遣した。全国大会等誘致開催補助金を活用し、16種目37大会を誘致した。体育協会の自主事業として友好都市交流事業(大野城市)等に取り組んだ。								直接事業費	千円	7,943	7,549	7,431	9,710	13,103
事業目標	目標名	山口県・国民体育大会への選手派遣人数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%		(予算額)	うち一財	千円	7,943	7,549	7,431	9,710	13,103
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	7,943	7,399		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値		950.0	950.0	950.0	950.0		(決算額)	うち一財	千円	7,943	7,399		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	実績値		901.0	774.0				正職員人件費	千円	366				対27年度増減理由	対28年度増減理由
	達成度(%)		94.8%	81.5%				人工数	人	0.05		0.05	0.03	対27年度増減理由	対28年度増減理由
								支出コスト	千円	決) 8,309	決見) 7,399			対27年度増減理由	対28年度増減理由
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否				
	①	周南市体育協会運営費補助金 (ソフト事業)	(公財)周南市体育協会	(公財)周南市体育協会が実施するスポーツ振興事業に対し補助金を交付	県体育大会、国体等や、全国規模の大会に出場する選手を増やす。 (県体・国体への選手等派遣 目標:950人)		県体・国体への選手等派遣実績は、774人で、目標の950人を達成できなかった。		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
									0.02		6,049	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 各団体の競技力の向上については、(公財)周南市体育協会の取り組みだけで実現できるものではないが、側面支援として何が出来るか、関係団体と協議する必要がある。						B	改善案	(公財)周南市体育協会と加盟団体等の連絡を密にし、競技力向上に向けた取り組みの検討を指導する。					
	②	全国大会等誘致開催補助金 (ソフト事業)	(公財)周南市体育協会	(公財)周南市体育協会が取り組む中国大会以上の開催補助事業に対し補助金を交付	大規模大会を誘致することで、観る人、支える人に重点をおいたスポーツの推進に取り組む。誘致件数:37件		大規模等大会を37件誘致した。		0.03		1,350	否			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 大規模大会の誘致については、加盟団体が上部団体(県組織・全国組織)と調整のうえ決定するため、周年記念事業としての冠大会の場合は協力が得られやすいが、定期的に誘致するためには、加盟団体等と連携し、積極的な誘致活動に取り組むとともに、受け入れ体制の中心となる各加盟団体の組織強化が必要である。						B	改善案	交流人口(スポーツコンベンション)誘致は、市後期基本計画の本命であることから、会場確保を深め、積極的なアプローチを行う。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事業業務目的	事業業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	公益法人制度改革により、平成25年4月に財団法人周南市体育協会から公益財団法人周南市体育協会として公益認定された。	前年度までの指摘事項	(公財)周南市体育協会は、市の出資比率が25%を下回っているが、実態をみると運営経費の大半を補助金、委託料等で賄っている現状を、再確認し、本来の競技力の向上やスポーツ振興のための役割を果たしているか、再度検証し、最少の経費で最大の効果を上げるよう、全体の見直しに取り組む必要がある。	指摘事項に対する改善状況	スポーツコンベンションによる地域の活性化を推進するため、体育協会及び加盟団体との情報共有ならびに情報発信体制の確立を推進していく。
	細事業の課題・問題点	スポーツ振興事業を積極的に推進する必要がある。大規模大会を誘致することで、トップレベルの大会を体感でき、観る人、支える人に重点をおいたスポーツの推進に取り組む必要がある。	事業全体の課題・問題点	体育協会の自主事業に取り組むことで、スポーツ振興に寄与するとともに、体育協会のスキルアップにもつながる必要がある。大規模大会を誘致することで、トップレベルの大会を体感でき、観る人、支える人に重点をおいたスポーツの推進に取り組む必要がある。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	引き続き市、体育協会、加盟団体が連携・協力しながらスポーツの推進体制の充実を図っていく。	改善案	スポーツコンベンションが推進できるよう、施設等の補修整備を計画的に進め、体育協会及び加盟団体がスポーツ振興に積極的に取り組める環境作りを進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B (公財)周南市体育協会は、市の出資比率が25%を下回っているが、実態をみると運営経費の大半を補助金、委託料等で賄っている現状を、再確認し、本来の競技力の向上やスポーツ振興のための役割を果たしているか、再度検証し、最少の経費で最大の効果を上げるよう、全体の見直しに取り組む必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200301
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
スポーツ振興に積極的に取り組める環境づくりのため、体育協会定年退職者の再雇用分人件費を追加し、予算措置した。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	17060	事務事業名	スポーツ少年団関連事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	II 一人ひとりが輝いて暮らせる	実施計画	
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)子どもの体力づくり			[ ]	40.50%
	推進施策の展開	それぞれのライフステージにおいて、興味や関心をもち継続してスポーツに親しめる機会や環境づくりに取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
		[ ]	45.80%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): スポーツ少年団活動を活発化することで、子どもを中心に幅広い年代層でのスポーツへの参画を推進できる。 (小学3~6年生のスポーツ少年団加入率 H26目標: 50%)	事業の内容 (手段)	●青少年の健全育成を目的に、周南市スポーツ少年団本部に対し、加盟団体の活動を推進するための支援		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	平成26年度 112団体 団員2,425人 指導者625人 (小学3~6年生のスポーツ少年団加入率 49.0%)								直接事業費	千円	2,729	2,659	2,575	2,486
事業目標	目標名	小学3~6年生のスポーツ少年団加入率	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	2,729	2,659	2,575	2,486	2,486
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	2,729	2,658		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	(決算額)	うち一財	千円	2,729	2,658	団員数の減		
	実績値	50.4	49.4	49.0			正職員人件費	千円	220					
	達成度(%)						人工数	人	0.03	0.03				
							支出コスト	千円	決) 2,949	決見) 2,658				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	スポーツ少年団活動費補助金 (ソフト事業)	周南市スポーツ少年団本部	周南市スポーツ少年団の円滑な運営のため補助金交付	スポーツ少年団活動を補助し、子どもの体力づくりを推進する。 (小学3~6年生のスポーツ少年団加入率50%)	児童数が減少するなか、概ね加入率を維持することができた。(小学3~6年生のスポーツ少年団加入率49.0%)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
		周南市と周南市スポーツ少年団本部が連携して、子どもの体力づくり推進事業に取り組む必要がある。					B	改善案	周南市スポーツ少年団本部に対し、周南市が実施する事業への協力を依頼。					
	②													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④		細事業評価		改善案					
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他									
	細事業の課題						改善案					
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他									
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	事業開始以来スポーツ少年団の活動を推進している。	前年度までの指摘事項	スポーツ少年団活動費補助金は、スポーツ少年団本部に対して、各団に10,000円+団員数×600円を助成しているが、その実態は、各団から本部に対して、団員数×1,000円を登録料として納付していることから、団員が25名以上の団では登録料の方が高くなっている。少子化が進む中で、団員数は減少すると思われるが、この事務作業や補助金の効果を考えると、見直しの時期が来ている。各団へのアンケートを行うなど各団のニーズ等を検証する必要がある。	指摘事項に対する改善状況	加入者増加に向けた情報発信に体育協会（スポーツ少年団本部）と連携して取り組む。団体数、加盟団員数の実態に即した補助金の支出による減額。（△84千円）
	細事業の課題・問題点	(ソフト事業) 周南市と周南市スポーツ少年団本部が連携して、子どもの健全育成、体力づくりに取り組む必要がある。	事業全体の課題・問題点	子どもたちの心と身体の健康づくりや青少年の健全育成を推進するため、周南市と周南市スポーツ少年団本部が連携して、少年団への加入に向けた取り組みや、指導者の研修等を積極的に行う必要がある。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	青少年の健全育成並びに子どもの体力づくりにおけるスポーツ少年団の果たす役割は大きいものがあり、引き続き支援をしていく。	改善案	関係団体と連携し、スポーツフェスタにおいて、体験型スポーツイベントを開催し、子どもたちにスポーツの楽しさを体験させるとともに、指導者への研修の場づくりを検討する。
----	---	--	------	---	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	スポーツ少年団活動費補助金は、スポーツ少年団本部に対して、各団に10,000円+団員数×600円を助成しているが、その実態は、各団から本部に対して、団員数×1,000円を登録料として納付していることから、団員が25名以上の団では登録料の方が高くなっている。少子化が進む中で、団員数は減少すると思われるが、この事務作業や補助金の効果を考えると、見直しの時期が来ている。各団へのアンケートを行うなど各団のニーズ等を検証する必要がある。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	200301
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
必要最小限の予算措置として、引き続きスポーツ少年団本部と連携し事業を進める。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	161008	事務事業名	全国大会等出場祝金事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3)スポーツを極める人づくり			【スポーツ・リクリエーションの振興】	40.50%
	推進施策の展開				25年度市民評価の満足度	
					【スポーツ等の振興】	45.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民及び本市を活動拠点とする団体		意図(どういう状態にしたい): 全国大会等出場への祝意を表すことで、スポーツを奨励し、市民のスポーツに対する意識の高揚を図る。		事業の内容 (手段)	●スポーツの奨励、発展を目的に、全国大会等へ出場する市民等に対し祝意を表し、祝金を交付

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	平成26年度 個人(118人) 団体(33団体 364人)						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
								直接事業費	千円	1,595	1,787	1,800	0	0	
事業目標	目標名	全国大会出場者	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額)	うち一財	千円	1,595	1,787	1,800	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,335	1,515		対27年度増減理由	対28年度増減理由		
	目標値	500.0	500.0	500.0	500.0	500.0	(決算額)	うち一財	千円	1,335	1,515	減	事業統合による減		
	実績値	544.0	341.0	482.0			正職員人件費	千円	293						
	達成度(%)	108.8%	68.2%	96.4%			人工数	人	0.04	0.04	0.04				
							支出コスト	千円	決) 1,628	決見) 1,515					
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数	コスト	委託等の可否		
	①	全国大会出場祝金 (ソフト事業)	周南市民	全国大会等出場者に対し、祝金を交付		スポーツの奨励・発展のため幅広く市民に対し制度を周知し、市民の意識の高揚を図る(全国大会出場者500人)		全国大会等へ出場する市民に対し祝金を交付(個人118人、団体364人)			正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託
								0.04			1,515		否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 出場者増に対する予算措置(補正予算)の対応時期の判断が難しい。						B	改善案	体育協会や競技団体等と連携をして情報収集に努めて対応する。					
	②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
								改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成23年度に山口国体が開催されたため、県内スポーツが盛んになっていることから祝金が増加傾向にあったが、年度によりバラつきがある。	前年度までの指摘事項	全国大会出場への賞賜金を定める要綱では、個人5,000円、団体30,000円(6名に満たない場合は人数分)としており、国民体育大会は適用しないこととなっている。通常、全国大会出場にあたっては、寄附を募るなど各団体等が資金確保を行っているが、スポーツ種目や大会規模により、公平性が保てるか再度検討する必要がある。特に、本市に限らず、選抜高等学校野球大会、全国高等学校野球選手権大会へ出場する際、多額の補助金(本市の場合5,000,000円)を支出するケースがある。他のスポーツとの違いを含め、補助金交付の対象経費の明確化など、補助金交付基準を検討しておく必要がある。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	出場者増に対する予算措置(補正予算)の対応時期の判断が難しい。		事業全体の課題・問題点	スポーツを奨励する事業であり、制度を市民に対し広く周知する必要がある。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	スポーツの奨励には効果のある事業であるが、競技レベルが上がるほど、財政的負担が増すことになる。	改善案	表彰制度については、市ホームページを活用し周知に努める。支給要件を明確にするため、要綱の見直しを行った。実態に即した積算による増額。(+13千円)

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 全国大会出場への賞賜金を定める要綱では、個人5,000円、団体30,000円(6名に満たない場合は人数分)としており、国民体育大会は適用しないこととなっている。通常、全国大会出場にあたっては、寄附を募るなど各団体等が資金確保を行っているが、スポーツ種目や大会規模により、公平性が保てるか再度検討する必要がある。特に、本市に限らず、選抜高等学校野球大会、全国高等学校野球選手権大会へ出場する際、多額の補助金(本市の場合5,000,000円)を支出するケースがある。他のスポーツとの違いを含め、補助金交付の対象経費の明確化など、補助金交付基準を検討しておく必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200302
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(2)スポーツを通じた地域活性化

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
スポーツの顕彰等を一元化するため、スポーツ奨励事業費に統合する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	161011	事務事業名	社会体育表彰事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3)スポーツを極める人づくり			[ ]	40.50%
	推進施策の展開				25年度市民評価の満足度	
			[ ]	45.80%		
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民及び本市を活動拠点とする団体	意図(どういう状態にしたい): 県大会以上の大会で優秀な成績をあげた選手・団体を表彰することでスポーツの奨励、競技力の向上が図られる。	事業の内容 (手段)	●スポーツへの関心、競技力の向上を図るため、県大会以上の大会で優秀な成績をあげた選手・団体に対し表彰を実施(名称:スポーツ栄光賞) 受賞者は、要綱及び基準(内規)に基づき決定する。 (公財)周南市体育協会では、団体役員や指導者などの功労者表彰を主とした表彰を行っており、表彰式は周南市と周南市体育協会とが合同で実施している。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	平成26年度受賞者 個人 170人(内訳:障害者 32人、健常者 138人) 団体 37団体(389人)						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	【26年度】	直接事業費	千円	558	608	590								0
事業目標	目標名	受賞者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	558	608	590	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	552	637		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	500.0	500.0	500.0	500.0	500.0	(決算額)	うち一財	千円	552	637	事業統合による減		
	実績値	439.0	427.0	559.0			正職員人件費	千円	1,172					
	達成度(%)	87.8%	85.4%	110.2%			人工数	人	0.16	0.18	0.18			
							支出コスト	千円	決) 1,724	決見) 637				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	スポーツ栄光賞授与式 (ソフト事業)	周南市民及び本市を活動拠点とする団体(県大会第1位以上入賞者)	スポーツへの関心、競技力向上を目的に、優秀な成績をあげた選手・団体を表彰	スポーツの奨励、競技力の向上を目標に、受賞者数の増加を目指す(受賞者数500人)	県大会以上の大会で優秀な成績をあげた選手、団体に対し表彰を実施(障害者32人、健常者 519人)	正職員 0.16 臨時等	直接事業費 638	委託 否 臨時嘱託					
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 競技団体によっては、申請がない団体もあるため、制度の周知徹底が必要である。					B	改善案	(公財)周南市体育協会と連携して情報発信に努め、表彰対象者を確実に把握できるようにする。					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	国体開催で選手育成強化の結果、受賞者の増加がみられたが、今後は、受賞者が減少しないよう維持することが必要。	前年度までの指摘事項	スポーツの奨励には有効な事業であり、引き続き事業を継続していく。なお、表彰漏れのないよう、体育協会と連携し加盟団体、学校等への周知に努める。	指摘事項に対する改善状況	関係機関への制度の情報周知の徹底に努める。
	細事業の課題・問題点	栄光賞の周知が行き届いておらず申請がない団体もある。		事業全体の課題・問題点	スポーツを奨励する事業であり、制度を市民に対し広く周知する必要がある。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	スポーツの奨励には有効な事業であり、引き続き事業を継続していく。	改善案	表彰制度については、体育協会、学校等へはこれまで文書にて通知しているが、市ホームページを活用した周知に努める。実態に即した積算による減額。(△18千円)

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B スポーツの奨励には有効な事業であり、引き続き事業を継続していく。なお、表彰漏れのないよう、体育協会と連携し加盟団体、学校等への周知に努める。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200301
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
スポーツの顕彰等を一元化するため、スポーツ奨励事業費に統合する。

備考



平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	161014	事務事業名	スポーツ推進委員関係経費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)スポーツを楽しむ環境づくり			[ ]	40.50%
	推進施策の展開	市民のスポーツ活動を支える指導者やスポーツ事業の企画、立案者など多彩な人材の確保や養成に努めます。			25年度市民評価の満足度	
	[ ]	45.80%				
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): スポーツ推進委員	意図(どういう状態にしたい): 地域スポーツの人口拡大及び充実のため地域団体から選出のあったスポーツ推進委員の資質向上に努め、地域づくりの推進を図る。 (スポーツ推進委員の各種事業等への延出席者数 H26目標:1,000人)	事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツ推進委員の資質向上のため協議会の運営を行う。</li> <li>●周南3市で連携し、協議会の運営を行う。</li> <li>●山口県と連携し、協議会の運営を行う。</li> <li>●中国地区と連携し、協議会の運営を行う。</li> </ul>		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	平成26年度に実施した会議、大会、研修会、出前スポーツ塾等の各種行事に延べ1,124人のスポーツ推進委員が出席した。								直接事業費	千円	4,852	4,830	4,852	4,795
事業目標	目標名	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	事業費	(予算額) うち一財	千円	4,852	4,830	4,852	4,795	4,795
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	4,736	4,733		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	986.0	986.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0		(決算額) うち一財	千円	4,736	4,733		費用弁償の減	
	実績値	813.0	1,058.0	1,124.0				正職員人件費	千円	2,564				
	達成度(%)	82.5%	107.3%	112.4%				人工数	人	0.35	0.35			
								支出コスト	千円	決) 7,300	決見) 4,733			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	周南市スポーツ推進委員協議会 (経常的事務事業)	周南市スポーツ推進委員	周南市スポーツ推進委員協議会の運営	スポーツ推進委員の資質向上のための各種事業への参加者数1,000人	更なる組織強化を進めることができた。(各種事業参加者数1,124人)	正職員 0.28 臨時等	直接事業費 4,362	委託	臨時嘱託				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 各種事業への参加者の偏りがある。				B	改善案	事前周知を徹底し、参加率の向上を図る						
	②	周南地域スポーツ推進委員協議会 (経常的事務事業)	周南3市(周南市・下松市・光市)スポーツ推進委員	3市で連携し周南地域スポーツ推進委員協議会の運営	スポーツ推進委員の資質向上のための研修会参加者数60人	下松市主催の研修会に参加及び運営協力を行った。3市が連携し、情報交換・情報共有が図られ、委員の資質向上に努めた。(研修会参加	0.03	72	否					
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 事業内容について、各市で方向性が異なる部分がある。スポーツ推進委員全員の参加を目標としているが、達成できていない。				B	改善案	事務局を通じ、事前に検討・周知を図る。							

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③	山口県スポーツ推進委員協議会 (経常的事務事業)	周南市スポーツ推進委員	山口県と連携してのスポーツ推進委員協議会の運営	スポーツ推進委員の資質向上のための研修会参加者数60人	宇部市で開催された研修会に参加し、委員の資質向上に努めた。(研修会参加者数25名)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
							0.03		140			否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 県内開催の研修会については委員数の参加費を確保できているが、遠方開催の場合、宿泊費の確保も検討する必要がある。スポーツ推進委員全員の参加を目標としているが、達成できていない。					細事業評価					
							B	改善案	必要な予算確保に努める。			
	④	中国地区スポーツ推進委員協議会 (経常的事務事業)	周南市スポーツ推進委員	中国地区と連携してのスポーツ推進委員協議会の運営	スポーツ推進委員の資質向上のための研修会参加者数4人	岡山市で開催された研修会に参加し、委員の資質向上に努めた。(研修会参加者数4名)	0.01		160			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 中国地区研修会については4名分の予算確保にとどまり、限られた委員数の研修となっている。					細事業評価					
							B	改善案	必要な予算確保に努める。			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成23年6月24日に「スポーツ基本法」が交付され、8月24日の本法律施行とともに従来の体育指導員から「スポーツ推進委員」に名称が置き変わった。	前年度までの指摘事項	スポーツ基本法第32条第2項の規定に基づき、設置するスポーツ推進委員の職務は、住民のスポーツ及びレクリエーションの推進に関し、①市の行うスポーツ事業の協力に関すること、②社会教育関係団体、職場等が行うスポーツ活動の指導、助言又はこれに対する協力及び連絡に関すること、③住民一般に対し、スポーツ等についての理解を深めることであり、現在策定作業を進めている、スポーツ推進計画の中核となる組織であることから、活動の活性化を図る必要がある。	指摘事項に対する改善状況	スポーツ推進委員のスキルアップを目的とした研修会開催にかかる講師謝金を新規計上。(+20千円)
	細事業の課題・問題点	スポーツ推進委員の資質向上のため、各種研修会への参加は必要不可欠と考えるが、予算対応等を含め満足いく対応ができていない。		事業全体の課題・問題点	スポーツ推進委員個々の任務・役割に対する責任感にばらつきがある。本市のスポーツを推進するうえで、指導的な立場にあるスポーツ推進委員ひとりひとりの資質向上を図ることが重要と考える。総合型地域スポーツクラブについても委員の理解を促し、「総合型地域スポーツクラブマネージャー」資格取得を進め、各地域のリーダーとしても位置付ける必要がある。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	10周年記念事業等への主体的な取り組みにより連帯感、責任感が徐々に醸成されつつあり、参加率が上がった。	改善案	スポーツ推進委員の資質の向上に努めるとともに、協議会として自主性を図る。総合型スポーツクラブ、スポーツ推進計画策定への積極的な関わりを求める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B スポーツ基本法第32条第2項の規定に基づき、設置するスポーツ推進委員の職務は、住民のスポーツ及びレクリエーションの推進に関し、①市の行うスポーツ事業の協力に関すること、②社会教育関係団体、職場等が行うスポーツ活動の指導、助言又はこれに対する協力及び連絡に関すること、③住民一般に対し、スポーツ等についての理解を深めることであり、現在策定作業を進めている、スポーツ推進計画の中核となる組織であることから、活動の活性化を図る必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200304
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(4)共創によるスポーツ文化の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
今年度策定したスポーツ推進計画のもと、地域スポーツの人口拡大及び充実のため、更なる活動の推進を図る。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	161017	事務事業名	地区スポーツ振興事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)スポーツを楽しむ環境づくり			[ ]	40.50%
	推進施策の展開	それぞれのライフステージにおいて、興味や関心をもち継続してスポーツに親しめる機会や環境づくりに取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
		[ ]	45.80%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): スポーツによる地域活動を通して、地区住民の連帯感を高め、生涯スポーツによる地域づくりを推進を図る。 (地区スポーツ事業参加者数 H27目標:40,000人)	事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 山口県、県体育協会と連携して総合型地域スポーツクラブの育成・拡充を推進する</li> <li>● 各地区スポーツ振興団体の運営費を補助を行う</li> </ul>		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	平成26年度地区スポーツ事業参加者数 35,496人						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	【26年度】													直接事業費
事業目標	目標名	地区スポーツ事業参加者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	3,441	3,437	3,527	3,527	3,527
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	3,427	3,427				
	目標値	30,000.0	30,000.0	40,000.0	40,000.0	40,000.0	(決算額)	うち一財	千円	3,427	3,427			
	実績値	33,700.0	38,308.0	35,496.0			正職員人件費	千円	1,026					
	達成度(%)	112.3%	127.7%	88.7%			人工数	人	0.14	0.14	0.18			
							支出コスト	千円	決) 4,453	決見) 3,427				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	①	総合型地域スポーツクラブ (経常的事務事業)	周南市民	山口県、県体育協会と連携して総合型地域スポーツクラブの普及、啓発	新規設立地域の開拓、新規クラブの設立1地区	拠点地域を3地区設定(熊毛・須々万・新南陽)した	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否		
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
	地域の拠点施設を中心に、誰でも気軽に様々なスポーツ活動などに参加できる総合型地域スポーツクラブを設立することにより、地域の活性化に努める必要がある。山口県では、現在45クラブを平成26年度までに100クラブの設立を目指し、市町と連携して取り組むこととしており、周南市でも、新規クラブの設立等の推進が求められている。						B	改善案	クラブ設立に必要な人材確保のため、スポーツ推進委員会を中心に資格取得に向けた研修会への参加等を啓発していき、人材確保に努める。					
②	スポーツ振興会活動費補助金 (ソフト事業)	周南市スポーツ振興委員会	各地区スポーツ振興委員会への補助金交付	地区スポーツ団体の活動を推進(各種事業参加者数40,000人)	各地区においてスポーツ事業が開催され、参加者数の目標値を未達成(参加者実績35,496人)	0.08		3,427		否				
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
各地区におけるスポーツを通じての地域づくりの核となる組織であるため、組織の活性化、次世代の人材育成を行う必要がある。						B	改善案	新たなスポーツへの取組、「する」だけでなく「みる」「支える」視点での取組の必要性を推進し、新たな事業展開を推進していく中で、人材発掘の場を広げていく。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	少子高齢化等による環境の変化で、地域に求められるスポーツ振興団体のあり方が、総合型地域スポーツクラブに変化してきている。	前年度までの指摘事項	市内32地区に体育振興会等で構成するスポーツ振興委員会を設置しているが、少子化、超高齢化の影響から、各地域を取り巻く生涯スポーツ環境は、各地域で状況が変化することが予測されことから、地域の実情に合った取り組みが促進されるよう支援する必要がある。また、こうした地域の実情も勘案しながら、地域の振興会等の活動を踏まえ、総合型地域スポーツクラブの設立や連携、移行等の見直しを行う必要がある。	指摘事項に対する改善状況	既存の振興会の会議のなかで、総合型地域スポーツクラブに関する情報を共有し体制づくりを図る。事業目的が重複するスポーツセミナー開催事業費を統合した。(+90千円)
	細事業の課題・問題点	総合型地域スポーツクラブについては、まだ地域に浸透しておらず、県と連携し、どう推進していくかが課題と思われる。スポーツ振興委員会については、各地区のスポーツ事業の参加者が目標値を達成しているが、次世代の人材育成が課題となる。	事業全体の課題・問題点	各地域には振興団体が設立しており、今後は設立を推進していく総合型地域スポーツクラブとの関わりが課題となってくる。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	既存の振興会等の活動と、総合型地域スポーツクラブが目指す方向性の整合性をとりながら推進していく。	改善案	既存の地域関係団体や東部広域スポーツセンター（総合型の支援組織として県内3か所に設置）と連携し、情報の共有を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 市内32地区に体育振興会等で構成するスポーツ振興委員会を設置しているが、少子化、超高齢化の影響から、各地域を取り巻く生涯スポーツ環境は、各地域で状況が変化することが予測されことから、地域の実情に合った取り組みが促進されるよう支援する必要がある。また、こうした地域の実情も勘案しながら、地域の振興会等の活動を踏まえ、総合型地域スポーツクラブの設立や連携、移行等の見直しを行う必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200304
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(4)共創によるスポーツ文化の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
関係団体の連携強化を図り、地域の実情に合った取り組みが促進されるよう、必要最小限の予算措置をした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	161019	事務事業名	トレーニングルーム運営事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)スポーツを楽しむ環境づくり			[ ]	40.50%
	推進施策の展開	それぞれのライフステージにおいて、興味や関心をもち継続してスポーツに親しめる機会や環境づくりに取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
		[ ]	45.80%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 専門指導員の配置すること、安心・安全に施設を利用でき、市民の体力づくりを推進を図る。 (利用者人数 H26目標:15,000人)	事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民が自発的に健康づくりを行うため、専門指導員による会員制トレーニングルームを運営する。</li> <li>●市民の健康づくりのため有料制のトレーニングルームを開放する。</li> </ul>		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	平成26年度利用者人数(延べ) 新南陽:12,304人 健康ルーム:7,274人 熊毛:95人 鹿野:649人						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
								直接事業費	千円	2,736	2,736	2,772	2,808	2,808	
事業目標	目標名	新南陽利用者人数	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額)	うち一財	千円	195	195	266	458	458
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	2,470	2,694				
	目標値	15,000.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0		(決算額)	うち一財	千円	181	381			
	実績値	13,670.0	12,540.0	12,304.0				正職員人件費	千円	0					
	達成度(%)	91.1%	83.6%	82.0%				人工数	人						
								支出コスト	千円	決) 2,470	決見) 2,694				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否			
	①	トレーニングルーム運営(新南陽) (ソフト事業)	周南市民(会員)	トレーニングルームの円滑な運営	会員のニーズに対応した環境の提供(施設利用者数15,000人)	年度途中の指導員の退職に伴い、新規指導員を採用し、利用者の安全確保に努めた。(利用者実績12,304人)	正職員	臨時等	2,694		可	可			
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 器具が老朽化しており、備品の整備と併せて運営方法も見直しの時期にきている。						細事業評価								
	B	改善案	新南陽については、新南陽ふれあいセンターと今後の施設のあり方を含めて協議していく。												
②	健康ルーム運営(総合スポーツセンター) (ソフト事業)	周南市民(会員)	健康ルームの円滑な運営	会員のニーズに対応した環境の提供(施設利用者数8,000人)	専門指導員の指導のもと市民の健康づくりに寄与した。(利用者実績7,274人)										
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 指定管理施設である総合スポーツセンター健康ルームについては、専門指導員を配置している施設であるため、より一層の利用者の増加が求められる。						細事業評価									
							改善案	指定管理者である(公財)周南市体育協会と連携し、周知を図っていく。							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③	④					正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	トレーニングルーム運営 (熊毛)	周南市民		トレーニングルームの円滑な運営	市民のニーズに対応した環境の提供(施設利用者数300人)	トレーニングルームの開放(利用者実績95人)						
	(ソフト事業)											
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他						細事業評価					
	熊毛武道館のトレーニングルームについては、指導員の設置も無く、施設管理者も常駐していないことから、利用者の安全面及び施設管理面が懸念される。						改善案	指定管理者である(公財)周南市体育協会と協議していく。				
	トレーニングルーム運営 (鹿野)	周南市民		トレーニングルームの円滑な運営	利用者のニーズに対応した環境の提供(施設利用者数600人)	トレーニングルームの開放(利用者実績649人)						
	(ソフト事業)											
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他						細事業評価					
	鹿野総合体育館のトレーニングルームについては、指導員の設置も無く、事務室から離れているため利用者の安全面が懸念される。						改善案	指定管理者である(公財)周南市体育協会と協議していく。				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	類似施設が民間で運営されている。	前年度までの指摘事項	トレーニングルーム等の運営は、安全性の確保が重要である。特に、機器の老朽化の伴う更新には、多額の費用が必要となることから、民間施設の利用への移行を踏まえた抜本的な見直しの検討が必要である。安全の確保には、経費も必要であり、民間施設の活用を考える時期に来ている。	指摘事項に対する改善状況	利用者の安心安全を考慮し、既存の施設をあり方等について現状の把握に努める。必要最小限の予算措置である。
	細事業の課題・問題点	トレーニング指導員の配置がある施設、配置のない施設があり、配置のない施設については利用者の安全面が懸念される。	事業全体の課題・問題点	施設によっては、施設・器具の老朽化が進み、備品の整備が望まれるが、費用対効果を考えた場合妥当性に欠ける施設がある。民間との競合もあり、継続か廃止かを判断する時期に差し掛かっている。また、徳山・熊毛・鹿野地区においても、指定管理者の管理によるトレーニングルームがあり、運営形態がそれぞれに違いがある。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	個々人のライフスタイルに合わせて利用できる施設として有益であるが、対費用効果、安全面、官民の役割分担の観点から見直しの必要のある施設もある。	改善案	利用者の安全確保を大優先に、施設ごとに配置器具、存在価値等について精査を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	C
	トレーニングルーム等の運営は、安全性の確保が重要である。特に、機器の老朽化の伴う更新には、多額の費用が必要となることから、民間施設の利用への移行を踏まえた抜本的な見直しの検討が必要である。安全の確保には、経費も必要であり、民間施設の活用を考える時期に来ている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200303
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(3)スポーツ環境の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
利用者の安全確保を前提に必要な最小限の予算措置をした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	161029	事務事業名	スポーツセミナー開催事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)スポーツを楽しむ環境づくり			[ ]	40.50%
	推進施策の展開	多様なニーズに対応できるスポーツ指導者の養成や確保のため学校と地域が連携し、スポーツ活動の機会を提供することに努めます。			25年度市民評価の満足度	
		[ ]	45.80%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民及びスポーツ指導者	意図(どういう状態にしたい): 地域におけるスポーツ指導者の養成又はスポーツ教室を通じて、子どもの体力づくり・健全な育成を図る。 (参加者 H26目標2,500人)	事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ニュースポーツの普及・推進を行う。</li> <li>●生涯スポーツの指導者養成を行う。</li> <li>●子どもの体力づくりを行う</li> </ul>		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	参加者総数 3,868人 ・出前スポーツ塾 3,417人 ・生涯スポーツ研修会 44人 ・鹿野地区スポーツセミナー 407人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	105	105	0	0		0						
事業目標	目標名	参加者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	105	105	0	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	26	4		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	1,800.0	1,800.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	(決算額)	うち一財	千円	26	4	地区スポーツ振興事業への統合による減		
	実績値	3,625.0	2,817.0	3,868.0			正職員人件費	千円	659					
	達成度(%)	201.4%	156.5%	154.7%			人工数	人	0.09					
							支出コスト	千円	決) 685	決見) 4				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	ニュースポーツ推進事業 (ソフト事業)	周南市民	ニュースポーツの普及・推進	子どもから高齢者まで誰でも気軽に取り組むことのできるニュースポーツ体験教室(出前スポーツ塾)を実施(参加者数2,200人)	イベント等での出前スポーツ塾の依頼が増加し、参加者増につながった(参加者実績3,417人)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.03		4	否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 出前スポーツ塾の本来の目的は、地域でニュースポーツ普及できるリーダー養成である。出前スポーツ塾の要望が増える中、団体の定例行事への派遣要請も増えているので、地域指導者を育成する視点での取り組みが必要である。					B	改善案	出前スポーツ塾の本来の活動目的を市広報、ホームページ等を有効活用して広く市民に周知する。					
②	生涯スポーツ指導者養成事業 (ソフト事業)	スポーツ指導者	生涯スポーツ指導者養成	地域における生涯スポーツの指導者を養成することで地域のスポーツ振興を図る(研修会参加者数50人)	クラブマネジャー養成講習会等指導者を養成する研修会を受講した(参加者実績44人)	0.06		0	否					
細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 実施効果のある研修内容の選定が必要であり、上部団体等が実施する研修会への参加も視野に入れて、有資格者の育成に取り組む必要がある。					B	改善案	山口県や(公財)日本体育協会が開催するクラブマネジャー養成講習会等への参加を本市の取り組みの一環として推進する。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③	少年スポーツ教室 (ソフト事業)	周南市民(主に児童)	子どもの体力づくり	子どもたちにスポーツに触れる機会を創出し、体力づくりにつなげる(教室参加者数250人)	キッズピクス教室等の開催(鹿野支所)(参加者実績407人)	0		0		否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 少子高齢化が進む鹿野地区で子どものスポーツ機会の確保を目的に開催しているが、児童の減少や高齢者の増加により、事業のあり方を検討する必要がある。					B	改善案	地域の特性を生かして、多世代交流のなかで子どもがスポーツに関わりや				
	④												
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	多項目、多世代に対応するため、スポーツ推進委員を活用しての「出前！スポーツ塾」を中心に、ニュースポーツの普及・推進に取り組んでいる。	前年度までの指摘事項	文化スポーツ課職員、スポーツ推進委員、地区スポーツ振興会、生涯スポーツ指導者、各スポーツ団体の役割等の分担、連携、協力体制の再検討を行う中で、ニュースポーツや健康づくり等、生涯スポーツの拡充等が図れる体制を検討する必要がある。	指摘事項に対する改善状況	事業目的が重複する地区スポーツ振興事業費に統合し、事業を廃止。
	細事業の課題・問題点	地域選出のスポーツ推進委員だけの普及活動には限界があるため、各地区体育振興会等の地域スポーツのリーダーとなる人材育成は不可欠である。出前スポーツ塾において、身近なグループでの指導者を育成するとともに、地域のリーダーにおいては、スキルアップできる研修の機会を提供することで、地域の特性を生かした取り組みを推進する必要がある。	事業全体の課題・問題点	スポーツをする人、しない人の二極化が進み、スポーツをしない人たちにいかにスポーツに触れる機会を提供するかが問われる		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	市民の健康・体力づくりへの関心は高い。関係団体と連携し、積極的な事業展開を進める。	改善案	出前スポーツ塾の周知、PRに努める。スポーツ推進委員や地区スポーツ団体会員を中心に、生涯スポーツ指導者講習会を開催する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 文化スポーツ課職員、スポーツ推進委員、地区スポーツ振興会、生涯スポーツ指導者、各スポーツ団体の役割等の分担、連携、協力体制の再検討を行う中で、ニュースポーツや健康づくり等、生涯スポーツの拡充等が図れる体制を検討する必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200301
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成27年度に地区スポーツ推進事業へ統合済み

備考



平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	161030	事務事業名	スポーツボランティア養成事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)スポーツを楽しむ環境づくり			[ ]	40.50%
	推進施策の展開	市民のスポーツ活動を支える指導者やスポーツ事業の企画、立案者など多彩な人材の確保や養成に努めます。			25年度市民評価の満足度	
		[ ]	45.80%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): ボランティア活動に参画することで、観る人、支える人に重視したスポーツを推進できる。 (ボランティア登録者数 H26目標:200人)	事業の内容 (手段)	●ボランティア活動の場として、市及び県のスポーツイベント等の情報を提供する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	平成26年度スポーツボランティア登録者数 144人 我がまちスポーツ推進事業でのおもてなし事業(体育協会実施事業)と連携して取り組んだ。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	55	55	0	0		0						
事業目標	目標名	ボランティア登録数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	55	55	0	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	7	28		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	200.0	200.0	200.0			(決算額)	うち一財	千円	7	28	スポーツ交流地域活性化推進事業への統合による減		
	実績値	150.0	143.0	144.0			正職員人件費	千円	220					
	達成度(%)	75.0%	71.5%	72.0%			人工数	人	0.03					
							支出コスト	千円	決) 227	決見) 28				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	スポーツボランティア養成事業 (ソフト事業)	周南市民	スポーツボランティアの活動の場を提供する。	スポーツボランティアの活動を通じ、人材育成に努める(登録者数200人)	我がまちスポーツ推進事業で体育協会が取り組む事業と連携した。(登録者実績144人)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.03		29	否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ボランティアの活用については、支える人に重視した取り組みであるため、人材の発掘と登録者全体が活動できる機会を確保する必要がある。					B	改善案	(公財)周南市体育協会が実施する事業についても、積極的に活用する。					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	山口国体の成功により、市民のスポーツボランティアへの関心が高まった。引き続きスポーツイベントや行事で本市を訪れる人に対する、市民のおもてなし活動が期待される。	前年度までの指摘事項	本市のスポーツを推進するうえで、スポーツを「支える」人材の養成や確保は、今後、必要不可欠であり、余暇の活用としても有益である。このため、市民活動の一環として、イベント等を支えるボランティアの養成について、文化スポーツ課職員、スポーツ推進委員、地区スポーツ振興会、生涯スポーツ指導者、各スポーツ団体が協議を行うなど、拡充に向けた取り組みを行う必要がある。	指摘事項に対する改善状況	スポーツ交流地域活性化推進事業(新規事業)に統合し、効率的な事業推進を図るとともに、ボランティア制度の登録者の拡大と活動の場の確保に努める。
	細事業の課題・問題点	ボランティア登録者であっても、ボランティアを有効活用するための体制作りがなされていないため、活動の機会が限定されている。		事業全体の課題・問題点	市民のスポーツ活動を支える人材育成を推進するため、支える立場であるスポーツボランティアに活動の機会を提供できる体制づくりが必要。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	本市のスポーツを推進するうえで、スポーツを「支える」人材の養成や確保をすることは今後、必要不可欠であり、余暇の活用としても有益であることから、引き続き市民活動の場として、イベントを支えるボランティアについて、拡大、有効活用を図る。	改善案	ボランティア制度の周知による登録者の拡大と、活動の場の確保に努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 本市のスポーツを推進するうえで、スポーツを「支える」人材の養成や確保は、今後、必要不可欠であり、余暇の活用としても有益である。このため、市民活動の一環として、イベント等を支えるボランティアの養成について、文化スポーツ課職員、スポーツ推進委員、地区スポーツ振興会、生涯スポーツ指導者、各スポーツ団体が協議を行うなど、拡充に向けた取り組みを行う必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200304
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(4)共創によるスポーツ文化の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成27年度にスポーツ交流地域活性化推進事業へ統合済み

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	161032	事務事業名	スポーツ大会開催事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)スポーツを楽しむ環境づくり			【スポーツ・リクリエーションの振興】	40.50%
	推進施策の展開	それぞれのライフステージにおいて、興味や関心をもち継続してスポーツに親しめる機会や環境づくりに取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【スポーツ等の振興】	45.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 生涯スポーツの啓発促進を図ることにより、市民の健康づくり、地域づくりの意識が高まる。 (参加者数 H26目標:3,000人)	事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツを「する人」・「観る人」・「支える人」の観点から市民が気軽に参加できるスポーツ大会を開催する。</li> <li>●子どもの体力づくりのため一輪車選手権を開催する。</li> <li>●障害者を対象とした市民パラトリム大会を開催する。</li> </ul>		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		26年度実績						項目		単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
・全市民対象とした市民スポーツフェスタ2014及び同時開催の市民パラトリム大会・一輪車選手権大会が台風のため中止								直接事業費	千円	1,785	1,332	1,276	22,928	22,528	
								(予算額) うち一財	千円	1,785	1,332	1,276	22,928	22,528	
事業目標	目標名	参加者数	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	直接事業費	千円	1,476	304		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	1,476	304		事業統合による増	委託料の減	
	目標値	3,000.0	3,000.0	3,000.0	3,000.0	3,000.0		正職員人件費	千円	9,230					
	実績値	1,851.0	10,776.0	0.0				人工数	人	1.26					
	達成度(%)	61.7%	359.2%	0.0%				支出コスト	千円	決) 10,706	決見) 304				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否			
	①	市民スポーツ大会 (ソフト事業)	周南市民全般を対象とした事業	市民の体力づくりのため気軽に参加できるスポーツ大会を開催する。		フェスタ形式の開催とし、市民が気軽に参加できる事業展開を行う。 (参加者数2,850人)		台風のため中止		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 フェスタ形式での事業展開が定着しておらず、市民の認知度が低い。						B	改善案	より多くの関係者と連携し、多くの市民が気軽に参加できる環境を整え、周知を図っていく。				
	②	一輪車選手権大会 (ソフト事業)	小学生を対象とした事業	子どもの体力づくり	参加者の獲得に努め、子どもの体力づくりに取り組む(参加者数100人)		台風のため中止		0.14		43		可		
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 スポーツ少年団活動以外で、子どもの体力づくり事業として取り組んでおり、応援者等を含めると参加者が3世代交流の場でもあるため、更なる参加者の獲得が必要である。						B	改善案	参加者増に向け、各小学校と連携していく。					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	③	市民パラトリム大会 (ソフト事業)	周南市民(障害者)を対象とした事業	障害者の体力づくり	障害者の自発的な体力づくりと社会参加を促す(参加者数50人)	台風のため中止		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 障害者のスポーツ活動を推進する事業として取り組んでいるが、他課でも同じような事業があり差別化が求められる。					細事業評価						
	④												
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案	実施事業内容を関係団体と調整していく。					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	スポーツ基本法の制定に伴い、「する」だけでなく、「観る」、「支える」視点でのスポーツの推進が求められるようになった。	前年度までの指摘事項	スポーツを「する」だけでなく、「観る」、「支える」の視点からも、多くの市民がスポーツに親しみ、地域間交流や健康、体力の向上を推進できる体制整備、事業展開等を図るという目的を達成するため、スポーツフェスタの内容等を常に、振り返り、改善を行いながら、進める必要がある。	指摘事項に対する改善状況	市民ニーズを反映した事業とするため、関係団体と連携して役割分担を行い、事業を実施していく。
	細事業の課題・問題点	スポーツをする人としていない人が二極化傾向にあるため、スポーツをしない人に対し、いかにスポーツに関心がもてるようにするかが重要である。	事業全体の課題・問題点	スポーツを「する」だけでなく、「観る」、「支える」の視点からも、多くの市民がスポーツに親しみ、地域間交流や健康、体力の向上を推進できる体制整備、事業展開が課題。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	市民誰もがスポーツに親しみ、スポーツの楽しさを実感することで、スポーツへの参加を促すことを目的として、当面、体験型スポーツイベントをメインに継続していく。	改善案	関係機関、団体と連携し、内容や運営について検討、改善しながら、より多くの市民老若男女が参加できるイベントとして開催する。
----	---	--	------	---	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	スポーツを「する」だけでなく、「観る」、「支える」の視点からも、多くの市民がスポーツに親しみ、地域間交流や健康、体力の向上を推進できる体制整備、事業展開等を図るという目的を達成するため、スポーツフェスタの内容等を常に、振り返り、改善を行いながら、進める必要がある。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	200301
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
「する」「観る」「支える」スポーツ人口の拡大を図るため、スポーツ大会を一元化し、種目別市民体育大会等運営事業費とスポーツ・レクリエーション行事開催事業費を統合した。あわせて宝くじスポーツフェアを開催する。

備考

備考
----

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	161033	事務事業名	種目別市民体育大会等運営事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3)スポーツを極める人づくり			【スポーツ・リクリエーションの振興】	40.50%
	推進施策の展開	競技スポーツの一層の充実のために関係団体などが連携し競技力の向上へ一体となった体制づくりや施設の整備に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【スポーツ等の振興】	45.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 競技団体を中心に市民の自発的なスポーツ活動の推進及び各種目の競技力の向上につながる。 (大会開催数 H26目標:100回)	事業の内容 (手段)	●各種競技団体の市民大会の開催を体育協会に委託し、アマチュアスポーツの競技力向上及び普及、振興の促進		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	市民体育大会(30種目85大会、参加人数17,392人)を開催した。						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
								直接事業費	千円	21,279	22,039	21,954	0	0
事業目標	目標名	大会開催数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	21,279	22,039	21,954	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	21,279	21,932		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	(決算額)	うち一財	千円	21,279	21,932	事業統合による減		
	実績値	88.0	85.0	85.0			正職員人件費	千円	220					
	達成度(%)	88.0%	85.0%	85.0%			人工数	人	0.03	0.02	0.02			
							支出コスト	千円	決) 21,499	決見) 21,932				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	種目別市民体育大会等運営委託料 (ソフト事業)	周南市民 (公財)周南市体育協会	競技団体を中心に市民の自発的なスポーツ活動の推進	年間100大会を目標に、参加者の増加に努め競技力の向上を図る。	市民体育大会は、30種目85大会で、年間目標である100大会を達成できなかった。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.02		21,932	可				
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 限られた施設での取り組みであるため、大規模大会等の誘致が増えると、大会数を増やすことは難しいが、種目別市民体育大会を積極的に開催し、参加者の増加に努め競技力の向上を図る。					B	改善案	市民のスポーツへの参加、競技力の向上につながるよう、(公財)周南市体育協会(体育協会加盟団体)に積極的な市民体育大会の開催を促す。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	市民の健康づくり、競技力向上に引き続き貢献している。	前年度までの指摘事項	市民のスポーツへの参加、競技力の向上につながるよう、(公財)周南市体育協会(体育協会加盟団体)に積極的な市民体育大会の開催を促し、主体的な取り組みを支援し、競技者の裾野を広げつつ競技力の向上を目指す。	指摘事項に対する改善状況	市民ニーズを反映した事業実施を目指し、体育協会との情報共有及び連携した事業実施に取り組む。
	細事業の課題・問題点	周南市と(公財)周南市体育協会が連携し、スポーツ振興でのお互いの役割を共通認識し、効率的な事業推進を行うことが必要である。	事業全体の課題・問題点	周南市と(公財)周南市体育協会が連携し、スポーツ振興でのお互いの役割を共通認識し、効率的な事業推進を行うことが必要である。また、より効率的にスポーツを推進していくためには、(公財)周南市体育協会は加盟団体との連絡を密にし、体育協会が中心となって取り組んでいく必要がある。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	競技スポーツの振興には必要な施策である。魅力ある大会を実施し、参加者の裾野を広げ、もって競技の普及、定着、競技力の向上を目指す。	改善案	施設の適切な維持管理を行うことで、有効利用を促すとともに、効率的な事業運営がなされるよう、体育協会には必要な指導、支援を行う。
----	---	--	------	--	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	市民のスポーツへの参加、競技力の向上につながるよう、(公財)周南市体育協会(体育協会加盟団体)に積極的な市民体育大会の開催を促し、主体的な取り組みを支援し、競技者の裾野を広げつつ競技力の向上を目指す。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	200301
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
「する」「観る」「支える」スポーツ人口の拡大を図るため、スポーツ大会開催事業に統合した。

備考

備考
----

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	161035	事務事業名	スポーツ・レクリエーション行事開催事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	それぞれのライフステージにおいて、興味や関心をもち継続してスポーツに親しめる機会や環境づくりに取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)スポーツを楽しむ環境づくり			[ ]	40.50%
	推進施策の展開	健康・体力の増進とスポーツ・レクリエーションの振興を図り、活動を楽しむことができる機会と場を提供する。地域の特性、伝統を生かし、多くの参加者を通じて、内外へ情報発信する。			25年度市民評価の満足度	
		[ ]	45.80%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民を中心に広域	意図(どういう状態にしたい): 市民だけでなく市外からの参加者を拡大することで、スポーツによる地域おこし、地域づくりを推進することができる。 (参加者数 H26目標:2,000人)	事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●津田恒実メモリアルスタジアムを活用したウエスタンリーグ公式戦を開催する。</li> <li>●大津島の自然を活用した大津島ポテトマラソンを開催する。</li> <li>●熊毛地区の鶴を活用したくまげ鶴の里ウォーク大会を開催する。</li> </ul>		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	参加者総数		5,675人		項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	【26年度】	ウエスタンリーグ公式戦	4,500人	大津島ポテトマラソン		466人	直接事業費	千円	750	2,250	2,750	0
	くまげ鶴の里ウォーク大会	709人			(予算額) うち一財	千円	750	2,250	2,750	0	0	
事業目標	目標名	参加者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	直接事業費	千円	750	1,090	対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	750	1,090	事業統合による減	
	目標値	500.0	1,000.0	2,000.0	7,000.0	7,000.0	正職員人件費	千円	3,589			
	実績値	1,081.0	1,170.0	5,675.0			人工数	人	0.49			
	達成度(%)	216.2%	117.0%	283.8%			支出コスト	千円	決) 4,339	決見) 1,090		
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否		
	①	ウエスタンリーグ公式戦 (ソフト事業)	市民・広域(市外者含)	交流人口を拡大することで、スポーツによる地域おこし、地域づくりを推進	多くの市民に、プロ野球にふれあう場を提供し、また試合後の野球教室を通して青少年の健全育成を目指す参加者数1,000人)	各関係団体と連携し、目標を達成した(参加者実績4,500人)	正職員	0.48	340	委託	否	
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他										
	細事業の課題	補助事業であるが、周南市(文化スポーツ課)が中心で取り組んでいる。					B	改善案	地域づくりには不可欠な事業であり、行政と市民の役割を明確にしながら推進していく。			
	②	大津島ポテトマラソン (ソフト事業)	市民・広域(市外者含)	交流人口を拡大することで、スポーツによる地域おこし、地域づくりを推進	幅広い参加者の確保と地域が主体となる事業展開を目指す(参加者数400人)	参加者数に上限がある中、大会の魅力を高め定員数に達した(参加者実績466人)	正職員	0.48	550	委託	否	
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					B	改善案	地域づくりには不可欠な事業であり、行政と市民の役割を明確にしながら推進していく。				
	交付金事業であるが、周南市(文化スポーツ課)が中心で取り組んでいる。開催地が離島であるため、輸送方法に限界があり、参加者の大幅な増員を見込むことは難しい。											

	細事業名 事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
事業を構成する細事業 【26年度実績】	③	くまげ鶴の里ウォーク大会 (ソフト事業)	市民・広域(市外者含)	交流人口を拡大することで、スポーツによる地域おこし、地域づくりを推進	幅広い参加者の確保と地域が主体となる事業展開を目指す(参加者数600人)	地域との連携も進み、参加者も増加している(参加者実績709人)	0.01		200	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 交付金事業であるが、周南市(熊毛総合支所)が中心で取り組んでいる。				細事業評価					
	④										
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価					
							改善案	地域づくりには不可欠な事業であり、行政と市民の役割を明確にしなが 推進していく。			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	行政と地元スタッフが連携し、事業を行ってきたが、地元スタッフの高齢化によりスタッフ不足が深刻な問題となっている。	前年度までの指摘事項	大津島ポテトマラソンは、大会参加者数に制限があるが、運営スタッフの確保、運営方法の効率化を図りながら、引き続き大津島の特性をフルに打ち出し、他大会にない魅力ある大会として継続する。 また、くまげ鶴の里ウォーク大会についても、スポーツコンベンションに繋がるよう、「する」、「観る」、「支える」人の拡充に取り組む。	指摘事項に対する改善状況	大津島ポテトマラソンについては、実行委員会を通じて島の出身者や市スポーツボランティアの確保に努める。 我がまちスポーツ推進事業で取り組んできた津田恒実杯学童・中学生軟式野球大会を交付金事業として継続実施する。(+500千円)
	細事業の課題・問題点	大津島ポテトマラソンとくまげ鶴の里ウォーク大会については地域との連携もスムーズに行われ、リピーターの多い大会となっている。大津島については離島であるため、参加者の増加、また、島民の高齢化が進むとともに、島起こし隊の任期終了に伴い、地元スタッフの確保に課題が残る。 ウエスタンリーグについては、きちんとした運営体制を構築していく必要がある。	事業全体の課題・問題点	地元スタッフの負担軽減、ボランティアスタッフの確保。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	大津島ポテトマラソンについては、大会参加者数に制限があるが、運営スタッフの確保、運営方法の効率化を図りながら、引き続き大津島の特性をフルに打ち出し、他大会にない魅力ある大会として継続する。	改善案	スムーズな大会運営に向け、スポーツボランティアの確保に努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 大津島ポテトマラソンは、大会参加者数に制限があるが、運営スタッフの確保、運営方法の効率化を図りながら、引き続き大津島の特性をフルに打ち出し、他大会にない魅力ある大会として継続する。 また、くまげ鶴の里ウォーク大会についても、スポーツコンベンションに繋がるよう、「する」、「観る」、「支える」人の拡充に取り組む。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200301
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
「する」「観る」「支える」スポーツ人口の拡大を図るため、スポーツ大会開催事業に統合した。

備考



平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	161045	事務事業名	スポーツ推進計画策定事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)スポーツを楽しむ環境づくり			【スポーツ・リクリエーションの振興】	40.50%
	推進施策の展開	スポーツ基本法の趣旨に則り、既存の計画を見直し、周南市の実情に応じたスポーツ推進計画を策定します。			25年度市民評価の満足度	
					【スポーツ等の振興】	45.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 市民意識調査を行い、関係団体等の市民の意見を反映させ、平成27年度以降の計画を策定する。	事業の内容 (手段)	アンケートによる市民意識調査から、実態把握、現状分析を行い、計画策定委員会において計画内容を検討し策定していく。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	周南市スポーツ推進計画策定委員会の開催(4回)								直接事業費	千円	1,571	1,643	0	0
事業目標	目標名	市民アンケート回収部数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	1,571	1,643	0	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,226	722		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値		3,000.0				(決算額)	うち一財	千円	1,226	722	計画策定を終了		
	実績値		1,004.0				正職員人件費	千円	3,003					
	達成度(%)		33.5%				人工数	人	0.41	0.39				
							支出コスト	千円	決) 4,229	決見) 722				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	スポーツ推進計画策定事業 (ソフト事業)	市民	スポーツに対する市民意識調査の実施、内容分析	より多くの市民実態を把握し、計画策定に反映する	市民3,000人を対象にアンケートによる意識調査を実施、標本として活用できる最低限のデータを確保。	正職員	0.39	臨時等	直接事業費	722	委託	可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 市民実態に即し時代に見合った計画を策定するため、多方面からの情報集約が必要である。				細事業評価	A	改善案	関係団体、公募委員により設置された策定委員会において、市民の意見と学術的な視点での分析を融合させ、計画を策定する。					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価		改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化		前年度までの指摘事項	今後10年間の、本市の実情に即したスポーツ推進に関する計画を、次期まちづくり総合計画と整合性を図り、本年度中に策定する。	指摘事項に対する改善状況	平成27年度にパブリックコメント、教育委員会の意見聴取を経て事業完了。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	今後10年間の、本市の実情に即したスポーツ推進に関する計画を、次期まちづくり総合計画と整合性をとり、本年度中に策定する。	改善案	市民ニーズ、実態、特性を的確に把握し、計画に反映させる。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 今後10年間の、本市の実情に即したスポーツ推進に関する計画を、次期まちづくり総合計画と整合性を図り、本年度中に策定する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200303
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(3)スポーツ環境の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成27年度策定済み。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	合田 幸二
事務事業コード	161048	事務事業名	我がまちスポーツ推進事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)スポーツを楽しむ環境づくり			【スポーツ・リクリエーションの振興】	40.50%
	推進施策の展開	山口国体での本市開催種目を「我がまちスポーツ」として普及、定着させるとともに、スポーツの推進、国体開催で得られた地域の財産である人材や施設を活用してのおもてなし事業、地域づくり事業による地域の活性化を図る。			25年度市民評価の満足度	
					【スポーツ等の振興】	45.80%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民(競技団体) 市内団体	意図(どういう状態にしたい): 国体開催で高めた機運を継続させることで、競技力を向上させることができ、地域住民への競技の普及率も高められる。地域づくり事業やおもてなし事業により観る人、支える人を支援する。 (参加者(する・観る・支える)数 H26目標:25,000人)	事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●おいでませ山口国体・山口大会の成果を一過性にするのがないよう、継続させるための事業計画の策定</li> <li>●開催競技6種目を「我がまちスポーツ」として普及・推進</li> <li>●各種団体が取り組むスポーツによる地域づくり事業、おもてなし事業を支援(補助金)</li> <li>●「我がまちスポーツ」を普及・推進するため施設整備を行う</li> </ul>		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績【26年度】	①国体等開催種目の普及・推進(6競技) 軟式野球、ハンドボール、レスリング、バスケットボール、ソフトバレーボール、ヒューストン ②団体による取り組みへの補助(周南市体育協会によるおもてなし事業、周南広域地場産業振興センターによる地域づくり事業)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	12,340	10,350	0	0	0
事業目標	目標名	参加人数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	6,328	5,175	0	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	12,369	9,852	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	10,000.0	23,000.0	25,000.0			(決算額)	うち一財	千円	6,357	4,926	県補助事業終了による減		
	実績値	19,866.0	40,042.0	19,594.0			正職員人件費	千円	2,344					
	達成度(%)	198.7%	174.1%	78.4%			人工数	人	0.32	0.32				
							支出コスト	千円	決) 14,713	決見) 9,852				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 我がまちスポーツ推進事業 (ソフト事業)		周南市の事務事業	国体開催で高めた機運を継続させるための事業計画策定	H24～H26年度までの事業計画を策定し、実施体制を構築する	我がまちスポーツの取り組み競技団体の育成体制が整った	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 H26年度まで取り組んできた我がまちスポーツを事業終了後も広く市民に定着させる必要がある。				B	改善案	補助事業対象期間後の、各団体の取り組みがスムーズに行われるよう、競技団体の育成が急務である。					
	② 我がまちスポーツ推進事業委託 (ソフト事業)		周南市の事業を市民(競技団体)に委託	開催競技6種目を「我がまちスポーツ」として普及・推進	競技団体へ事業目的を周知し、事業を円滑に遂行する(参加者数10,000人)	事業計画に基づき、各団体ともに事業が実施された(参加者実績6,334人(する人3,307人・観る人2,093人・支える934人)	0.09		6,200	可				
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 競技団体毎の取り組み内容に温度差がある。				B	改善案	実施競技団体の共通理解を図り、より良い事業展開に繋がるよう指導する。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③	我がまちスポーツ推進事業補助 (ソフト事業)	周南市内団体の取組を補助	各種団体が取り組むスポーツによる地域づくり事業、おもてなし事業を支援(補助金)	実施団体に事業目的を理解いただき、事業を円滑に遂行する(参加者数15,000人)	交流人口の拡大に繋がった(参加者実績13,260人(する人60人・観る人13,116人・支える人84人)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 事業計画に基づき、円滑に事業実施が行われた。					細事業評価						
	④	我がまちスポーツ推進事業環境整備 (施設等整備事業)	周南市の事務事業	「我がまちスポーツ」を普及・推進するための施設整備	環境整備を行い、事業を継続的に実施する	デジタルタイム及び電光表示器の購入	0.09		553	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 整備した環境を活用し、いかに交流人口の拡大を図るか。					細事業評価						
							B	改善案	事業計画の見直しにより、さらなる交流人口の拡大を目指し事業に取り組む。				
							B	改善案	整備された施設の更なる活用方法を検討				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化		前年度までの指摘事項	現時点で、本年度で県補助対象期間が終了する予定であることから、その後を見据え、各団体、機関の自主的・自発的な活動ができるよう支援し、組織強化を図る。市としては、軟式野球、ハンドボール、レスリング、バスケットボール、ソフトバレーボール、ヒューストンの6競技が、今後自立して、大会等が定着し、「する」、「観る」、「支える」人の拡充を始め、参加する団体数の拡大に向け支援を行うが、併せて、県制度の継続を強く要望していく。	指摘事項に対する改善状況	本事業は、平成24年度から平成26年度までの3ヶ年事業として終了。今後、新たな県制度を取り入れ、我がまちスポーツ推進事業で本市に根付いた山口国体・山口大会の開催競技種目等を活用したスポーツ人口拡大に向けた取組みを実施していく。
	細事業の課題・問題点	実施団体の体制に温度差があるため、組織強化への取組が必要である。		事業全体の課題・問題点	補助事業終了後の継続実施に向けた体制整備、組織強化。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	県補助対象期間が終了後も各団体、機関の自主的・自発的な活動ができるよう支援し、組織強化を図る。	改善案	個々の競技により組織力、競技の定着度に差があるため、個々の団体の状況に応じた指導、支援を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	A	事業終了。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200303
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(3)スポーツ環境の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
-------------------------------------

備考
----

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	162005	事務事業名	体育施設管理費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)スポーツを楽しむ環境づくり			【スポーツ・リクリエーションの振興】	40.50%
	推進施策の展開	だれもが気軽に楽しむことができるスポーツ施設の確保に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【スポーツ等の振興】	45.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 市民が気軽にスポーツ活動を実施できる環境が整う。 (体育施設利用者数 H26目標:400,000人)	事業の内容 (手段)	●スポーツ、レクリエーション、文化等の活動の場を提供し、スポーツや文化の振興を図るとともに、だれもが気軽に楽しむことができるスポーツ施設の確保		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	体育施設の維持管理費 3,800,211円 体育施設指定管理料 272,397,000円						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】	※H24.12月新南陽体育館廃止に伴い25年度からの目標値変更(体育館5施設→4施設)						直接事業費	千円	265,527	277,319	282,109	275,886	275,886
事業目標	目標名	利用者数(体育館4施設)	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額) うち一財	千円	220,878	230,780	215,382	227,688	227,688
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	266,185	276,197		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	450,000.0	450,000.0	450,000.0	400,000.0	40,000.0		(決算額) うち一財	千円	221,497	226,428		修繕費、委託料の増	
	実績値	442,045.0	371,362.0	392,187.0				正職員人件費	千円	3,150				
	達成度(%)	98.2%	82.5%	87.2%				人工数	人	0.43	0.52	0.48		
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数	コスト	委託等の可否	
	① 地区グラウンド等維持管理 (施設管理運営事業)		周南市民	直営の地区グラウンドや指定管理業務対象外の体育施設を快適に利用できるよう維持管理する		対応が必要な案件に優先順位をつけ、効率的な維持管理を行う。 (利用者数目標:40,000人)		体育施設を快適に利用できるよう維持管理し、突発事案については応急修繕対応した。(地区グラウンド利用者数:40,501人)			正職員 0.02	直接事業費 2,464	委託	臨時嘱託
	細事業の課題		□ 妥当性 ■ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		効率的な維持管理ができるよう、各施設の実態を把握する必要がある。大規模改修が必要な場合は、適切な事業での執行を行う。		B	改善案	各施設の実態を把握し、大規模改修等の対応にならないよう維持管理していく。					
	② 体育施設指定管理業務 (総合スポーツセンター) (施設管理運営事業)		(公財)周南市体育協会	総合スポーツセンターの効率的な管理運営		効率的な施設の維持管理のための情報共有体制を構築する。 (利用者数目標:300,000人)		情報共有体制を構築するため、指定管理者において、施設整備計画を整理することを指示した。(利用者数:323,530人)			0.25	115,657		
細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 ■ 効率性 □ コスト □ その他		文化スポーツ課と指定管理者が連携して情報を共有し、利用者が快適に施設を利用できるよう、コンベンション施設にふさわしいサービスを提供する必要がある。指定管理業務の中心となる施設であり、指定管理者は他地区を総括する必要がある。指定管理者制度を有効に活用する。		B	改善案	文化スポーツ課と指定管理者が情報を共有し、効率的な施設管理に取り組むとともに、指定管理者制度を有効活用する。						

	細事業名 事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託
事業を構成 する細事業 【26年度実績】	③ 体育施設指定管理業務 (徳山地区) (施設管理運営事業)	(公財)周南市体育協会	徳山地区体育施設の効率的な管理運営	効率的な施設の維持管理のための情報共有体制を構築する。(利用者数目標:250,000人)	情報共有体制を構築するため、指定管理者において、施設整備計画を整理することを指示した。(利用者数:271,151人)	0.25		96,509		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 文化スポーツ課と指定管理者が連携して情報を共有し、利用者が快適に施設を利用できるよう努める必要がある。周南緑地公園内の体育施設であり公園整備計画との絡みはあるが、サービスの質が低下しないよう、施設を維持管理する必要がある。指定管理者制度を有効に活用する。			B	改善案	文化スポーツ課と指定管理者が情報を共有し、効率的な施設管理に取り組むとともに、指定管理者制度を有効活用する。			
	④ 体育施設指定管理業務 (新南陽地区) (施設管理運営事業)	(公財)周南市体育協会	新南陽地区体育施設の効率的な管理運営	効率的な施設の維持管理のための情報共有体制を構築する。(利用者数目標:100,000人)	情報共有体制を構築するため、指定管理者において、施設整備計画を整理することを指示した。(利用者数:95,560人)	0.25		31,145		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 文化スポーツ課と指定管理者が連携して情報を共有し、利用者が快適に施設を利用できるよう努める必要がある。新南陽地区の体育施設を総括し、利用者へ情報提供できるよう努める必要はあるが、新南陽地区だけにとらわれず、本部を中心に指定管理業務を遂行する必要がある。指定管理者制度を有効に活用する。			B	改善案	文化スポーツ課と指定管理者が情報を共有し、効率的な施設管理に取り組むとともに、指定管理者制度を有効活用する。			
	⑤ 体育施設指定管理業務 (熊毛地区) (施設管理運営事業)	(公財)周南市体育協会	熊毛地区体育施設の効率的な管理運営	効率的な施設の維持管理のための情報共有体制を構築する。(利用者数目標:40,000人)	情報共有体制を構築するため、指定管理者において、施設整備計画を整理することを指示した。(利用者数:45,331人)	0.25		12,192		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 文化スポーツ課と指定管理者が連携して情報を共有し、利用者が快適に施設を利用できるよう努める必要がある。熊毛地区の体育施設を総括し、利用者へ情報提供できるよう努める必要はあるが、熊毛地区だけにとらわれず、本部を中心に指定管理業務の遂行を求めなければならない。指定管理者制度を有効に活用する。			B	改善案	文化スポーツ課と指定管理者が情報を共有し、効率的な施設管理に取り組むとともに、指定管理者制度を有効活用する。			
	⑥ 体育施設指定管理業務 (鹿野地区) (施設管理運営事業)	(公財)周南市体育協会	鹿野地区体育施設の効率的な管理運営	効率的な施設の維持管理のための情報共有体制を構築する。(利用者数目標:22,000人)	情報共有体制を構築するため、指定管理者において、施設整備計画を整理することを指示した。(利用者数:23,907人)	0.25		16,894		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 文化スポーツ課と指定管理者が連携して情報を共有し、利用者が快適に施設を利用できるよう努める必要がある。鹿野地区の体育施設を総括し、利用者へ情報提供できるよう努める必要はあるが、鹿野地区だけにとらわれず、本部を中心に指定管理業務を遂行する必要がある。指定管理者制度を有効に活用する。			B	改善案	文化スポーツ課と指定管理者が情報を共有し、効率的な施設管理に取り組むとともに、指定管理者制度を有効活用する。			
	⑦ 放置自動車 (施設管理運営事業)	放置自動車所有者	施設内の放置自動車等を排除する	放置車両が発生しないよう、関係機関路連携して対応する。	指定管理者や公園管理者と連携し、駐車場等の利用実態を把握し、無断駐車等への対応を行った	0.02		6		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 周南緑地公園内の駐車(放置)車両は、体育施設利用者と公園利用者の区別が難しいため、指定管理者、公園管理担当課と連携して対応することが必要である。放置自動車が発生しないよう、指定管理者による日頃からの巡視、対応が必須である。			B	改善案	指定管理者である周南市体育協会と公園花とみどり課と定例会議を設け、情報交換を随時行う。放置自動車が発生しないよう、指定管理者による日頃からの巡視、対応を行う。			

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
事業を構成する細事業【26年度実績】	⑧	体育施設用地借地	周南市民(土地所有者)	体育施設用地の借用	継続利用している体育施設用地を引き続き借用する。		0.02		1,330					
		(施設管理運営事業)												
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 地区グラウンド等の体育施設が少ない場所での借地であり、体育施設用地として借用する必要がある。					<b>細事業評価</b> B    改善案    施設の再配置計画の動向を踏まえて対応する。							
		⑨	施設利用者調整業務(学び交流建設関係)	周南市民(新南陽体育館・新南陽武道館利用者)	施設解体に伴う代替施設の提供	限られた施設を有効に活用し、利用者のニーズをできるだけ満たせるよう代替対応する	公共施設の休館日開放、企業体育館の開放等の協力を得て利用者の要望に対応した	0.12		-				
(施設管理運営事業)	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 生涯学習課と連携して対応していく必要がある。					<b>細事業評価</b> B    改善案    今後の方向性について、関係各課と連携して対応する。								

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
課題・問題等	施設利用者や指定管理者等への指導、協力を得ながら経費の削減に努めている。	休止中の大河内プールの廃止解体、老朽化施設の今後のあり方、指定管理施設とするのか直営とするのか等について、個々の施設の稼働率などの利用状況等を踏まえ、今後の方向性を検討する。	指定管理者である体育協会や関係課と連携を図るため、定期的な連絡会議を開催し適切な管理運営が図れるよう努める。旧大道里小体育館所管替えに伴う管理費(+513千円)及び、総合スポーツセンター備品(卓球台)更新費用(+4,096千円)の増。大河内プールについては、26年度に解体した。
	細事業の課題・問題点	施設の老朽化に伴う、突発的な修繕、改修が発生するため、より細かなところまでの維持管理に注意を払う必要がある。指定管理施設においては、各施設の受付対応について統一化がなされていないため、地域の実情に配慮し、事務の統一化を図るとともに、市民に対しわかりやすい情報提供に努める必要がある。	文化スポーツ課と指定管理者が連携して情報を共有し、どの施設でも利用者が快適に施設を利用でき、一定のサービスを利用者に提供できるようにする必要がある。指定管理者制度を有効に活用し、施設整備計画を整理し、効率的な施設管理に取り組む必要がある。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	利用者の利便性や施設利用の効率性に配慮しながら、指定管理者である体育協会において、適切な管理運営に取り組む。	改善案	市民に利用し易く、安心安全な施設の提供を念頭に、体育協会と連携し、随時、適切な管理運営に向けた改善を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 老朽化施設の今後のあり方、指定管理施設とするのか直営とするのか等について、個々の施設の稼働率などの利用状況等を踏まえ、今後の方向性を検討する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200303
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(3)スポーツ環境の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
新たな指定管理期間(5年)の開始に伴い、引き続き(公財)周南市民体育協会による指定管理を行うこととし、必要経費について積算の見直しを行い債務負担行為による予算措置をした。 また、効率的かつ効果的な施設の運営を行うため、指定管理者との連絡調整会議は継続する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	162008	事務事業名	体育施設整備事業	事業の分類	(施設等整備事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	○
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)スポーツを楽しむ環境づくり			【スポーツ・リクリエーションの振興】	40.50%
	推進施策の展開	だれもが気軽に楽しむことができるスポーツ施設の確保に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【スポーツ等の振興】	45.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 安心・安全な施設を提供することで、コンベンション事業及び市民スポーツの場として施設が有効活用できる。	事業の内容 (手段)	●老朽化した体育施設の改修、整備を行い、快適な環境を提供		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・西徳山総合グラウンド法面改修工事 ・鹿野中学校グラウンド夜間照明改修工事 ・総合スポーツセンターバドミントン支柱(5対)更新 ※H24.12月新南陽体育館廃止に伴い25年度からの目標値変更(体育館5施設→4施設)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	4,036	18,118	0	37,943		174,900							
事業目標	目標名	利用者数(体育館4施設)	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額)	うち一財	千円	4,036	3,918	0	29,393	174,900
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	6,470	18,140		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	450,000.0	450,000.0	450,000.0	400,000.0	40,000.0		(決算額)	うち一財	千円	6,470	5,540		柔道畳更新、エレベーター設計委託の増	実施計画事業の増
	実績値	442,045.0	371,362.0	392,187.0				正職員人件費	千円	440			0.00		
	達成度(%)	98.2%	82.5%	87.2%				人工数	人	0.06	0.22	0.00			
								支出コスト	千円	決) 6,910	決見) 18,140				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否						
	①	体育施設整備事業 (施設等整備事業)	周南市が行う整備事業	快適な環境の提供	快適な施設の提供、老朽化した備品等の更新	・西徳山総合グラウンド法面改修工事 ・鹿野中学校グラウンド夜間照明改修工事・バドミントン支柱(5対)更新	正職員 0.22	臨時等	直接事業費 18,140	委託 否	臨時嘱託				
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
	大型施設を含め建設から20年以上が経過しているため、老朽化による不具合が見受けられる。施設の利用状況を把握し、利用者のニーズに応じた施設整備、備品整備を行う必要があるが、そのためには施設整備計画を策定し、緊急性の高いものから順次対応する必要がある。						A	改善案	指定管理者と連携して、施設整備計画を整理し、計画的に施設整備、備品整備に取り組む。						
②															
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価									
							改善案								



事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						
	④												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	施設の老朽化・破損等が進んでおり、緊急性の高いものから順次対応している。	前年度までの指摘事項	長期的な改修計画を立て、計画的な整備を進める。	指摘事項に対する改善状況	財源が有利となる交付金事業等を有効活用した事業展開を推進する。
	細事業の課題・問題点	大型施設を含め建設から20年以上が経過しているため、老朽化による不具合が見受けられる。体育施設全体の状況を把握するために、施設整備計画を策定することが必要である。	事業全体の課題・問題点	施設を整備する際は、財源確保の観点からも、関係各課の整備計画と整合性をとりながら対応するため、施設管理担当課の意向で対応できないところがあるため、情報の共有化が必要である。		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	体育施設全般に老朽化が進む中で、財政状況等を勘案しながら、国の補助制度等を有効活用し、施設の長寿命化の観点から、計画的に取り組む。	改善案	スポーツコンベンション、緊急度等から適正な優先順位付けを行い、限られた予算の有効活用を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 長期的な改修計画を立て、計画的な整備を進める。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200303
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(3)スポーツ環境の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
安心・安全な施設の提供及びスポーツコンベンションの視点に立ち、総合スポーツセンターの柔道畳の更新とエレベーターの設計委託料を予算措置した。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	162090	事務事業名	地域の元気臨時交付金事業費(体育施設整備事業)	事業の分類	(施設等整備事業)
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	○
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)スポーツを楽しむ環境づくり			【スポーツ・リクリエーションの振興】	40.50%
	推進施策の展開	だれもが気軽に楽しむことができるスポーツ施設の確保に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【スポーツ等の振興】	45.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 安心・安全な施設を提供することで、コンベンション事業及び市民スポーツの場として施設が有効活用できる。	事業の内容 (手段)	●地域の元気交付金を活用して、老朽化した体育施設の改修、整備を行い、快適な環境を提供		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	・水泳場塗装改修工事 ・水泳場給水設備配管改修工事								直接事業費	千円	167,669	12,909	0	0
事業目標	目標名	計画的な整備	計算式			単位		(予算額) うち一財	千円	58,869	2,009	0	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	92,481	11,631		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値		計画工事	計画工事				(決算額) うち一財	千円	15,781	2,031		整備工事が終了	
	実績値		工事完了	工事完了				正職員人件費	千円	879				
	達成度(%)							人工数	人	0.12	0.10			
								支出コスト	千円	決) 93,360	決見) 11,631			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	体育施設整備事業 (施設等整備事業)	周南市が行う整備事業	快適な環境の提供	快適な施設を提供する	年度内における整備工事の完了	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.1		11,631	否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 予算規模と施工時期が限られるため、条件に見合う事業を精査する必要があるが、大規模施設については、年間を通じて利用があるため、施設を利用制限しての施工が難しい。					A	改善案	優先順位をつけて計画的に実施する。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化		前年度までの指摘事項	長期的な改修計画を立て、計画的な整備を進める。 (予定工事は完了)	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	体育施設全般に老朽化が進む中で、財政状況等を勘案しながら、国の補助制度等を有効活用し、施設の長寿命化の観点から、計画的に取り組む。	改善案	適正な優先順位付けにより、限られた予算の有効活用を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	A	工事完了。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200303
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(3)スポーツ環境の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
事業終了。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	162091	事務事業名	がんばる地域交付金事業費(体育施設解体事業)	事業の分類	(施設等整備事業)
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	○
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)スポーツを楽しむ環境づくり			【スポーツ・リクリエーションの振興】	40.50%
	推進施策の展開	だれもが気軽に楽しむことができるスポーツ施設の確保に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【スポーツ等の振興】	45.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 安心・安全な施設を提供することで、コンベンション事業及び市民スポーツの場として施設が有効活用できる。	事業の内容 (手段)	●地域の元気交付金を活用して、老朽化した体育施設の改修、整備を行い、快適な環境を提供		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	・大河内プール解体工事								直接事業費	千円		12,821	0	0
事業目標	目標名	計画的な整備	計算式	単位			(予算額) うち一財	千円		6,821	0	0	0	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円		7,549		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値			計画工事			(決算額) うち一財	千円		1,549		整備工事が終了		
	実績値			工事完了			正職員人件費	千円						
	達成度(%)						人工数	人		0.10				
							支出コスト	千円		決) 0	決見) 7,549			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	体育施設整備事業 (施設等整備事業)	周南市が行う整備事業	快適な環境の提供	快適な施設を提供する	年度内における整備工事の完了	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.1		11,631	否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 予算規模と施工時期が限られるため、条件に見合う事業を精査する必要があるが、大規模施設については、年間を通じて利用があるため、施設を利用制限しての施工が難しい。					A	改善案	優先順位をつけて計画的に実施する。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化		前年度までの指摘事項	長期的な改修計画を立て、計画的な整備を進める。 (予定工事は完了)	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	体育施設全般に老朽化が進む中で、財政状況等を勘案しながら、国の補助制度等を有効活用し、施設の長寿命化の観点から、計画的に取り組む。	改善案	適正な優先順位付けにより、限られた予算の有効活用を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	A	工事完了。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200303
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(3)スポーツ環境の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
事業終了。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	162092	事務事業名	がんばる地域交付金事業費(体育施設整備事業)	事業の分類	(施設等整備事業)
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	○
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)スポーツを楽しむ環境づくり			【スポーツ・リクリエーションの振興】	40.50%
	推進施策の展開	だれもが気軽に楽しむことができるスポーツ施設の確保に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【スポーツ等の振興】	45.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 安心・安全な施設を提供することで、コンベンション事業及び市民スポーツの場として施設が有効活用できる。	事業の内容 (手段)	●地域の元気交付金を活用して、老朽化した体育施設の改修、整備を行い、快適な環境を提供		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	・総合スポーツセンター給水設備改修工事								直接事業費	千円		10,286	0	0
事業目標	目標名	計画的な整備	計算式			単位		(予算額) うち一財	千円		3,838	0	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円		10,202		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値			計画工事				(決算額) うち一財	千円		3,754		整備工事が終了	
	実績値			工事完了				正職員人件費	千円					
	達成度(%)							人工数	人		0.10			
								支出コスト	千円	決) 0	決見) 10,202			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	①	体育施設整備事業 (施設等整備事業)	周南市が行う整備事業	快適な環境の提供	快適な施設を提供する	年度内における整備工事の完了		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
						0.1		11,631		否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 予算規模と施工時期が限られるため、条件に見合う事業を精査する必要があるが、大規模施設については、年間を通じて利用があるため、施設を利用制限しての施工が難しい。					A	改善案	優先順位をつけて計画的に実施する。					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化		前年度までの指摘事項	長期的な改修計画を立て、計画的な整備を進める。 (予定工事は完了)	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	体育施設全般に老朽化が進む中で、財政状況等を勘案しながら、国の補助制度等を有効活用し、施設の長寿命化の観点から、計画的に取り組む。	改善案	適正な優先順位付けにより、限られた予算の有効活用を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	A	工事完了。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200303
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(3)スポーツ環境の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
事業終了。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	原 剛	評価責任者 (部長)	久村 信幸
事務事業コード	162009	事務事業名	体育施設整備事業(繰越明許費)	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	○
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)スポーツを楽しむ環境づくり			【スポーツ・リクリエーションの振興】	40.50%
	推進施策の展開	だれもが気軽に楽しむことができるスポーツ施設の確保に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【スポーツ等の振興】	45.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民		意図(どういう状態にしたい): 安心・安全な施設を提供することで、コンベンション事業及び市民スポーツの場として施設が有効活用できる。		事業の内容 (手段)	●老朽化した体育施設の改修、整備を行い、快適な環境を提供

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・総合スポーツセンター空調熱源設備改修設計業務委託 ※H24.12月新南陽体育館廃止に伴い25年度からの目標値変更(体育館5施設→4施設)						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円				
事業目標	目標名	計画的な整備		計算式			単位						
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	事業費	直接事業費	千円	2,531		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	改修設計業務委託						(決算額) うち一財	千円	2,531			
	実績値	委託終了						正職員人件費	千円	0			
	達成度(%)							人工数	人	0.00			
								支出コスト	千円	決) 2,531	決見) 0		
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	①		体育施設整備事業 (施設等整備事業)	周南市が行う整備事業	快適な環境の提供	年度内早期着工に向けた設計の完了 総合スポーツセンター空調熱源設備改修の設計業務を繰越事業として行い、施工を年度内に実施した。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価						
	②						A	改善案					
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価						
							改善案						



事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題						改善案							
④														
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題						改善案							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	施設の老朽化・破損等が進んでおり、緊急性の高いものから順次対応している。	前年度までの指摘事項	改修設計業務委託完了。改修は26年度。	指摘事項に対する改善状況	引き続き、優先順位をつけて計画的に実施する。
	細事業の課題・問題点	大型施設を含め建設から20年以上が経過しているため、老朽化による不具合が見受けられる。	事業全体の課題・問題点	施設を整備する際は、財源確保の観点からも、関係各課の整備計画と整合性をとりながら対応するため、施設管理担当課の意向で対応できないところがあるため、情報の共有化が必要である。		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	体育施設全般に老朽化が進む中で、財政状況等を勘案しながら、国の補助制度等を有効活用し、施設の長寿命化の観点から、計画的に取り組む。	改善案	適正な優先順位付けにより、限られた予算の有効活用を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 平成25年度事業終了。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200303
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(3)スポーツ環境の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
事業終了。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二
事務事業コード	162022	事務事業名	福川地区総合グラウンド整備事業(繰越明許費)	事業の分類	(施設等整備事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	○
	基本施策	I 24 スポーツの振興	基本方向	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)スポーツを楽しむ環境づくり			【スポーツ・リクリエーションの振興】	40.50%
	推進施策の展開	地区グラウンドを整備します。			25年度市民評価の満足度	【スポーツ等の振興】
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 市民が気軽にスポーツ活動できる環境が整う。	事業の内容 (手段)	●体育施設の整備を行い、快適な環境を提供		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	施設内トイレ・倉庫、日よけの設置、駐車場整備(繰越事業)								直接事業費	千円	0				
事業目標	目標名	整備状況	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額) うち一財	千円	0					
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	21,741			対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	100.0	100.0					(決算額) うち一財	千円	1,141			整備工事が終了		
	実績値	94.4	100.0					正職員人件費	千円	366					
	達成度(%)	94.4%	100.0%					人工数	人	0.05					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数	コスト	委託等の可否		
	①	福川地区総合グラウンド整備事業 (施設等整備事業)	周南市が行う整備事業	地区グラウンド整備		トイレ、倉庫、日よけの設置、駐車場整備		工事施工			正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託
								0.05			21,741		否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
								改善案							
②															
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
							改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
④														
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	当初計画では、ピーチスポーツに対応できる機能としていたが、地区グラウンドとしての機能を重視した施設に変更。	前年度までの指摘事項	整備工事完了	指摘事項に対する改善状況	地区グラウンドとして整備を行った。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	通常、地元管理としながらも、行政が行うべきところについては、利用者の利便性に配慮し、地元関係者と連携して適正な施設の維持管理に取り組む。	改善案	引き続き官民の役割の分担のもとで、地元管理で行う部分については、必要な指導、情報の提供を行う。
----	---	--	------	--	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	平成25年度事業終了。
----	---	-------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	200303
分野	2生涯学習・人権
基本施策	3スポーツの振興
推進施策	(3)スポーツ環境の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
事業終了。	

備考

備考	
----	--